

EL «ARGENTIN DJIJO»

PERIODICO SEMANAL EN JAPONES

Redacción: W.PALLATA 981

U.T. 25 B.Orden 7051

AÑO VII

Nº. 314



EL LIBERTADOR

NUMERO EXTRAORDINARIO
1810 - 25 DE MAYO - 1930

御歸朝はどうぞ

大阪商船の優秀客船で



フエノス・アイレス丸	排水	一万八千吨
リオデジャネイロ丸	"	一万六千吨
サン・トラス丸	"	一万三千吨
ラプラタ丸	"	一万三千吨
モンテビデオ丸	"	一万三千吨

南米航路發着表 (自昭和五年 至今六年)

船名	神戸発	フエノス着	フエノス発	横濱着
フエノス・アイレス丸	四月、一九	六月、一〇	六月、二一	八月、二九
サン・トラス丸	五月、一四	七月、一五	七月、二六	九月、二六
リオデジャネイロ丸	六月、一七	八月、二九	八月、一〇	十月、一〇
モンテビデオ丸	七月、二一	九月、一〇	九月、二一	十一月、一〇
ラプラタ丸	八月、一四	十月、二四	十月、一五	十一月、二四
フエノス・アイレス丸	九月、一七	十一月、二七	十一月、一八	十二月、二七
サン・トラス丸	十月、二〇	十二月、三〇	十二月、二一	一月、三〇
リオデジャネイロ丸	十一月、二三	一月、三三	一月、二四	二月、三三
モンテビデオ丸	十二月、二六	二月、六	二月、一七	三月、六
ラプラタ丸	一月、二九	三月、九	三月、二〇	三月、二九
フエノス・アイレス丸	二月、二	三月、十二	三月、二三	三月、三二
サン・トラス丸	二月、五	三月、十五	三月、二六	三月、三五
リオデジャネイロ丸	二月、八	三月、十八	三月、二九	三月、三八
モンテビデオ丸	二月、十一	三月、二一	三月、三二	三月、四一
ラプラタ丸	二月、十四	三月、二四	三月、三五	三月、四四
フエノス・アイレス丸	二月、十七	三月、二七	三月、三八	三月、四七
サン・トラス丸	二月、二十	三月、三十	三月、三十一	三月、五〇
リオデジャネイロ丸	二月、廿三	三月、三三	三月、三十四	三月、五三
モンテビデオ丸	二月、廿六	三月、三六	三月、三十七	三月、五六
ラプラタ丸	二月、廿九	三月、三九	三月、四十	三月、五九
フエノス・アイレス丸	三月、二	三月、十二	三月、二三	三月、三二
サン・トラス丸	三月、五	三月、十五	三月、二六	三月、三五
リオデジャネイロ丸	三月、八	三月、十八	三月、二九	三月、三八
モンテビデオ丸	三月、十一	三月、二一	三月、三二	三月、四一
ラプラタ丸	三月、十四	三月、二四	三月、三五	三月、四四
フエノス・アイレス丸	三月、十七	三月、二七	三月、三八	三月、四七
サン・トラス丸	三月、二十	三月、三十	三月、三十一	三月、五〇
リオデジャネイロ丸	三月、廿三	三月、三三	三月、三十四	三月、五三
モンテビデオ丸	三月、廿六	三月、三六	三月、三十七	三月、五六
ラプラタ丸	三月、廿九	三月、三九	三月、四十	三月、五九

各船共三等には四人室、六人室、八人室、十人室等の船室がござります。寝床は柔いコルチヨン、雪白のサバナ、暖い毛布等寝具一式に清酒なコルチヨナまでついでなます。其上、煖房器、扇風器を装置し換氣法は最新式の動力換氣装置です。美しい風景場にはたえずお湯が沸いてゐる、愉快な入浴も出来ませぬ。御病氣の時は船醫や看護婦が無料で見守り申上げます。尚三等お客様優遇は大阪商船の傳統的傳統精神です。一専には二人室、家族室、一人室の船室の外、船内とは思へぬ程優雅な談話室や喫煙室、ベランダカマロー等の設備がござりまして至って愉快な御旅行が出来ます。

日本行

一等 千〇七拾円
 特三 参百八拾円
 二等 参百拾五円
 三等 参百拾五円

◎日本より御家族御呼寄せの方は御乗船賃を当地にて御拂下さるは弊店にて乗船切符(指圖書)を發行致します。尚詳細は左記弊社支店に御問合せ願ひます。

日本より

一等 九百参拾圓
 特三 共 武百廿五圓
 二等 共 武百廿五圓

大阪商船株式会社

OSAKA SHOSEN KAISHA

25 DE MAYO 4-31 B.A.S.
UT (51) Ref. No 2825

祝 亞 國 獨 立 祭
 S. YAMADA Y CIA
 IMPORTADORES

ALJINA
 1838-1840

市内アルシーナ街一八〇

山
 田
 商
 會

U.T.
 37 RIVADAVIA
 0571

BUENOS

AIRES

祝 亞 國 獨 立 祭



CAFE TOKIO
 DE

Haihara & Nos.

貝
 原
 兄
 弟

FABRICA Y
 ESCRITORIO
 HUMBERTO 1º
 2013
 U.T. 2243 B. ORDEN

SUCURSAL "A"
 LAVALLE 1388
 U.T. MAYO 5854
 SUCURSAL "B"
 Bº MITRE 349
 U.T. AVENIDA 0153

東
 京
 珈
 琲
 店

FUJISAKI Y CIA

IMPORTADORES Y EXPORTADORES

SARMIENTO 459, P. 3º. ESCRIT. 28 ~ 29

U.T. 37 RIVADAVIA 4459

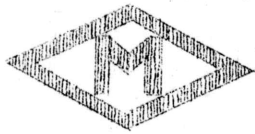
29 SUOCHO ICHICOME
YOTSUYA - TOKIO

46 SUMIYOSHICHO SANCHOME
YOKOHAMA - JAPON

RIO DE JANEIRO
SAN PABLO
PERNAMBUCO
- BRASIL -

祝
独
立
紀
念
祭
藤
崎
商
會

祭立独



國亞祝

MATSURA TRADING Co. LTD.

IMPORTADORES

ARTICULOS GENERALES DEL JAPON

LAVALLE 344 - ESCRIT. 107 - U.T. 31 Retiro 0985

會商易貿浦松

KATSUDA Y Cia

IMPORTADORES

會商田勝

MEXICO 1474 - U.T. 38 MAYO 2313

祝
独
立
紀
念
祭

IIDA Y  CIA LTA

“TAKASHIMAYA”

CASA MATRIS
TOKIO

RODRIGUEZ PEÑA 162
U.T. 38 MAYO 3419
BUENOS AIRES

祝
独
立
祭

五月廿五日

高
嶋
屋

飯田株式會社
Zエノス・アイレス
出張所

S. TSUJI

亞
國
祝
獨
立
祭

五月廿五日

辻
商
店

BALCARCE 682 - U.T. 33 Av. 5744

祝
独
立
紀
念
祭

横濱加藤合名會社
代理店

原
商
店

輸入部

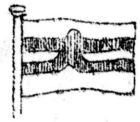
ベルグラノ街二四七〇

U.T. マーヨ 二四三六
U.T. リバダ 六六二四

小賣部

バルトロメ・ミトレ街二〇三〇

U.T. マーヨ 七〇七二



乗船
下船
出迎見送御案内
船舶御用商

木
川
塩
澤
商
店

RIVADAVIA 770

U.T. LIBERTAD 3535

U.T. MAYO 1402

祝
獨
立
祭

BAZAR JAPONES
DE

IRIZUKI Y USUI

RIOJA 1854

BUENOS AIRES

日 入
井 月
知 武
則 武

祝
獨
立
紀
念
祭

1810 - 25 DE MAYO - 1930

"AU PETIT DUC"

PASTRERIA DE MEDIDA FINA

(ATENDIDA POR SUS PROPIOS DUEÑOS)

NUMEROSOS CLIENTES JAPONESES SE VISTEN EN NUESTRA CASA

CAMARA Y CALVO

SARMIENTO 1073

U.T. 1279 LIBERTAD

電話
二二七九

ウ・フ・テ
デウク

高等
洋服店

25 DE MAYO

1810

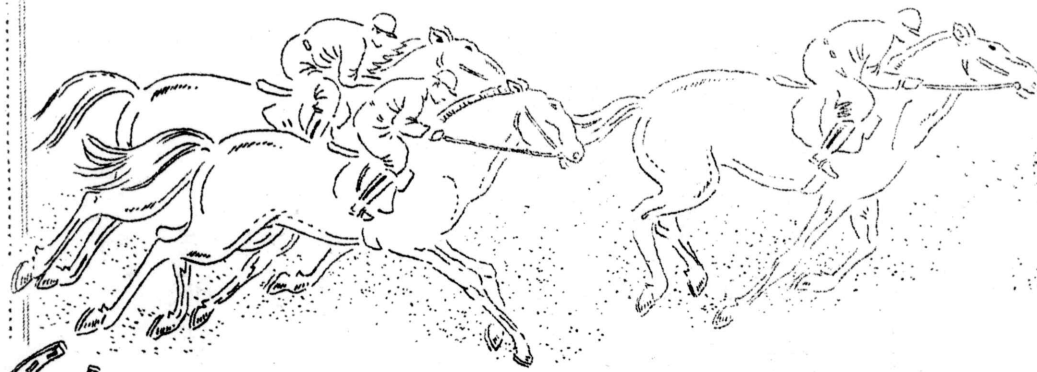
1930

TINTORERIA
BOTAFOGO
DE

T. FUNAY

ENTRE RIOS 215
U.T. 7740 MAYO

BUENOS AIRES



CAFE TOKIO

M.K. MIHURA & CIA

CAJA MATRIZ MERCEDES F.C.O.
(U.T. 191)

SUCURSAL N.º1 JUNIN F.C.P.
(U.T. 198)

SUCURSAL N.º2 LUJAN F.C.O.
(U.T. 100)

SUCURSAL N.º3 PERGAMINO F.C.C.A.
(U.T. 151)

祝 獨 立 紀 念 祭

カフェ東京

本店

メルセデス市
(電話 一九二番)

支店

水野武義
フニン市
(電話 一九八番)

支店

三浦與吉
ペルガミノ市
(電話 一五一番)

支店

金子良平
ルハン市
(電話 一〇〇番)

菅野幾八
穴戸庄五郎

三浦合資會社

EL "TOKIO"

GRAN TINTORERIA Y TALLER DE LAVADO Y PLANCHADO

DE ADOLFO K. OTSUBO

RIVADAVIA
5202

BUENOS

大坪喜義

五月廿五日

U.T. CABALLITO
4738

AIRES

祝 独 立 祭

市内コチヤパンバ街
1300

25 DE MAYO

洋服店

佐伯 克太郎

TINTORERIA BELGRANO
DE DOY HIJOS

祝
亞
國
獨
立
祭

五
月
廿
五
日

土
井
兄
弟

RIVADAVIA 11336 - U.T. 64 - Lirios 619

CAFE JAPONES

12 BILLARES

PARANA

E. RIOS

祝
獨
立
紀
念
祭

パ
ラ
ナ
市

カ
ラ
エ
ハ
ホ
ネ
ス

松
山
嘉
次
郎

庄
司
善
右
衛
門

JADAO HATTORI

IMPORTADOR

ESPECIALIDAD EN ARTICULOS DE
CEPILLERIA



25 DE MAYO

1810



1930

五月廿五日

祝
独
立
祭

服
部
定
雄

市内リニエール街 六四九
電話 ミートレ・ハニハ

LINERS 649 - B^s A^s - U.T. 62 MITRE 8218

建國紀念日に際して

南米の東南端に位し廣袤百二十萬平方哩、無盡の資源を抱蔵し南米の大宝库として世界の視聽を集め、國運日に旺んたる亞不然丁共和國は今日五月廿五日才百廿四建國紀念祭を迎ふるのである。

第二の母國として此の國に生活し其恩恵を被ること勤むからざる吾等同胞は不霸獨立にして自由正義を愛する亞國民が歡喜して獨立祭を祝ふに當り满腔の熱誠を以て共に之が同慶祝福を希ふものである。

回顧すれば一千八百拾年五月廿五日本國西班牙の圧政と暴虐に憤激したる建國の志士が獨立自由の大旗を押し立て、鉄鎖を断つて西國の覇權を脱し共和國の基礎を確立してより僅か百拾有星霜を経たるに過ぎざるも國運の進展の速なる事は洵に驚嘆に價するものがある。

建國の初期に於ては群雄割拠せるが爲の中央集權の實を遂げず内訌續出し流血の慘事繰り返されたるが一千八百五

拾三年ブエノスアイレスに於て一回亞不然丁共和國の威令漸く行はれ國內平定するに至つた。

南米亞國は政治的闘争と選け克く歐洲先進國の文物を移入し積極的に國富開發に努力したが故に其文化の程度に於て又經濟的發展に於て他の南米諸國に比し斷然一頭地を抜くに至つたのである。

氣候溫和地味又豊沃加ふるに無盡の資源を有し富強たるべき餘り餘年絶えて内訌起らず政權は常に平和裡に授受され國內の秩序整ひ生命財產の安全は確保されたるが故に歐洲先進國と異に此の國に着眼し或は資本を投下し或は移民を送り或は文化を紹介し各自勢力を伸ばした。

英國の如きは既に五十億弗の投資をなし鐵道を布設して地方開發を促進し交通農牧方面に於ては独占的地位を獲得した。佛國又英に次ぐ投資國たるが自國文化の移入に於ては他國の進歩を許さず常に思想學術藝術の宣傳紹介に努め亞國の國民性に甚大なる感化を與へてゐる。英佛の先進國と競争して着々堅實な地歩を固めてゐるは獨りである。又學術界工業界に於ても偉大な勢力を振擡してあるのである。又北米は大戦後經濟的に日覺ましき進歩を遂げ現存當國に於ける投資額拾五億弗に

達せんとしてゐる。英米佛佛等が資本を投せんに對し、伊西兩國は亞國に勞力を提供した。最近七十年間に伊太利は三百萬人、西班牙は二百萬人の移民を送り亞國の國富開發に甚大なる貢獻を致したのである。

如斯各國民族は當國に於て各自の特色を發揮して堅實なる基礎を築きつ、あるのである。

蘇つて我國の亞不然丁に於ける發展状態を顧るに英佛獨伊西等の諸國に及ばざること天地霄壤の差であるが尤も鐵が火和民族が亞國に足跡を印したるは僅かに二十有餘年前に過ぎない然しながら今日や亞國の交通運輸は既に商船郵船兩社の南米航路に依つて連絡され兩國の接觸は日を送り密接の度を加へつ、あるのである。

從而日亞貿易も漸時其の地盤を確立し年額一千萬弗を越ゆる場合もあり將來益々亞國市場に日本商品の進出を見らるべきを信じて疑はない。又在留同胞の數四十に達し各方面に於て假令その規模小なりと雖も相當の發展を遂げつ、あり大いに意を強ふするに足るものがある。併し吾人は何時迄も基礎工事時代のみの小成に安んずるは最良な縮の一步である。基礎工事より躍じて百年を劃する建設時代に移らねば將來の發展の度も推測するに難くない。吾等は百尺竿頭更に一步

を進め歐米先進國の間に位し堂々と平和裡の競争を試みるならば、假令彼等に立後れたりとも強自の地位を獲得すること敢て難事ならずと思ふ。懸遠涯しなきパンパスの沃野に天日さらけに晴れ渡る今日、亞國の獨立祭を迎へ吾人は限りなき歡喜を以て洋洋たる大亞不然丁國の前途を祝福し併せて日亞の國交の益々親善ならん事を祈りて擲筆するものである。

記事内容

- 建國紀念日に際して
- 自由獨立の意義
- 海運雜誌
- 木枯の市況を覗く
- アルゼンチン・タンゴに就て
- 「マコボロ」と「コロンプス」
- 噴火山
- ブエノスアイレス標榜
- 隨筆及小説數種
- 詩と歌

自由獨立の意義

帝國領事

内山岩太郎

亞尔然丁は五月二十五日を以て其の國祭日たる獨立紀念日を迎へるのであるが、吾人の如く直接此の國に在留する者は外國人としても亦特別の親みを以て此の日を迎へる訣である。

現代世界の各國は夫々國祭日として唯一の紀念日を持つて居る例はあるが、其の紀念日の起源は必ずしも同一ではない。日本は勿論、帝王の元首を有する國では多く國家の幸福を祈る爲めに帝王そのもの、誕生日を紀念し祝ふのであるが、或る共和國に於ては王朝を倒して共和制を執つたことを紀念するもの、即ち現政體の建設の日を紀念日とするものがあり、又或る國は自由の爲めに他の國から獨立した日を以て國祭日とするものもある。亞尔然丁の如きは此の最後の

部に属するもので、西班牙本國から自由を獲得し獨立したことを紀念するものであつて、新大陸諸國の國祭日は多く其の趣旨を一にするものである。今私に南米方面に活動せらるゝ、邦人諸君に向て、特に注意を喚起し度いことは此の國祭日に因らざる自由の觀念に就てである。

日本でも西洋文明の渡來と共に此の文字は入つて來て、今日では日本の根本法である憲法にも信仰の自由、言論の自由等の文字を用ひられて居るのである。併し下ら佛蘭西革命に於て自由を叫んで闘つた幾年かの歴史や、南北米を通じ自由獨立の爲めに流された多量の血の事を考へると、我々日本人が考へる自由と云ふこと、此等の國の人々が考へる所のものとの間に多少の隔きがあるのではないかと思はれる。日本帝國二千五百年の歴史に

於て實際吾人は此の自由の爲めに國家的・國民的に争つたことは無かつたとも云へる。これはまた其の原因が無かつた程に思ふ。想上、幸ふ國民であつたとも云へるかも知れん。

然し今後当地方に在留の諸君は此の新しい天地に於ては天張り其の土地の人と同じ空氣を呼吸せねばならぬので従つて自由と云ふ觀念に就ても日本人一般の考ふる以上に餘程重要に考へねばならぬことだと思ふ。それと同時に自由の意義を領土へて我儘勝手、放漫亂雜となつては行らぬのである。自由の爲めには死も犠牲せざるの氣概がなくては新大陸に於ける立派な市民とはなり得ないのであるが、同時に眞の自由の存在を疑ふことは他人の自由を尊重する爲めに他人に対しては飽く迄寛大に之れに及し、己ら保持するには自制的美德を以て飽く迄も秩序を重んずるの用意がなくてはならぬのである。

加の一方である。若し新天地に入つて新しい思想、新しい道徳がありとすれば其の才一は諸君の愛好する自由と云ふことであると思ふ。

私は亞尔然丁の國祭日を迎へ此の自由を國愛とする國の國運の益々隆盛を望むことを祈る者であるが、茲に特に自由の觀念に就て諸君の注意を喚起し、眞の自由には必ず節制と秩序とが伴ふべきものであることを注意し度いのである。何と云へば、諸君の日常生活に於ても自由即ち權利の半面には必ず義務の附隨して居ることを忘れてはならぬからである。

(一九三〇・五・二八)

祝亞國獨立祭

山崎次郎

祝亞國獨立祭

内山岩太郎

獨立祭を祝いて

本間鐵雄

壓制の魔の手はふれし獨立のまつしを憶が今日の日出度、勇ましく獨立せし今日の目をめでたく祝ふ漂浪の身も、今ははや何の苦もなかり此の國はいや榮へゆくはかりなるらん。

海運雑話

大阪商船株式會社 家坂喜

最近の主要諸問題の内最も朝野に論議せられしものは、金解禁と、ロンドン軍縮会議である。...

法即ちジョンズホワイット案に至り、徹底的海運補助を實施し、対外貿易は自國貨自國船主義を目標とし、歐州極東各地航路を經營し、英國其他を脅威し居り、...

針は伊國に劣らず航路補助を受けざる船は殆んど見當らぬ程度にして、東洋方面に活躍せるM.M.社の如きは其最たるものなり、...

(以下次頁四段目へ)

木枯の市況を覗く

木猿子

秋風と共に落葉として去る
銷沈市況極度に萎縮し寸毫
の活気を見られぬが昨今の
亞國の經濟界だと評しても過
言ではないと思ふ。

不景氣を叫ぶ声は随分永い間
耳にして居たが最近の状態は一
層非道いものである。

不況の原因に対しては甲論乙駁
色々意見が發表されて居るが
何れも眞因であらうか。

不況の原因をイリゴエン大統領
の失政の罪として昨日迄ビーバ
イリゴエンを称へた輩まで政府
当局者を呪つて居るが果して

不況は政府当局者の經濟政策
の欠陥にのみあるであらうか。

反イリゴエン大統領側の意見
として政争の渦中のみ全力を
投じて危機に直面して居る國家

の經濟情勢を省みればいかに
々と難じて居る声も聞くが旋置
拳終了後國民の信望恢復の一途

として現政府は景氣挽回策にも
可成り留意して居ることは誰れ

も認める。
勞農政府の
經濟政策の
不振をスター
リン一派が勞
農政府最良
の大敵大星は農産物だと年明
して居る様に、亞國の經濟の生命
を支配して居るものは矢張り農
作物であるまじや。

種別	一九二八年	一九二九年	一九三〇年
トリーゴ	三〇〇四三九九	三〇〇八二四二	二四七五五七四
マイヌ	二四四三三三	二五三九六三三	二二九三三三
リノ	八六九三七一	九四四六三〇	六七三七四七
アベナ	二二六四九一	二八七三七八	一五九六一六

更に吾々は前記農作物の價格
の不振にも注意せねばならぬ。
亞國の經濟主体は農收にあり
工業國としての亞國の經濟力は
今日尙微々たることは今更贅言
を要せぬ。

到處して居る。
亞國の現狀は農作物若しくは農畜
の生産物を海外に送り斯れ
る金に代へて食用品以外の日常
品をも購はねばならぬ。従而農
作物不振に依り受くる影響は
彼等と比較して更に痛切なる
ものである。亞國の經濟界は
自動的内部的波動よりも他
動的に動く方が、より強烈では
あるまいか。

昨年末に於ける農作物の輸出
の結果、收穫の減少
で可成り萎れ
居るが、現在に於け
る斯れの輸出不振
並びに價格の崩落
は、より多くの打撃
を經濟界に與へて
居るまいか。

斯れは海外顧客市
場の購買力減少、換言すれば外
より受ける波動である。
然して最後の希望を托して居つ
たマイヌの新物出廻期に至りま
す。輸出の不振が更に深い暗翳を
投げて居る様に思ふ。

(前頁のつづき)

代表的海運國にしてトランパー
として世界に雄飛する諸國海
運、國家事業の概ある瑞典海
運、安土府の各港により海運の各
國たる白呂、南歐海運の雄
海、西歐海運、東洋貿易の關係
深き南歐海運、新興國の芬蘭
他國との提携經營に巧むる波蘭
海運、智利の海運、國營海運
ソヴィエト海運隊の情況は全
り導向的にして一般に興味深き華
故道路す。

切なる海運政策が樹立を待つて
其内容充実に努めし勇往邁進
すれば列國海運の爭鬪にも
其の敵を、ものにあらざる事
世界海運の日本海運の存在が如
きは物語るものがある。世界
的不景氣の慘況は東西南北を
遍く吹く様に、日本の如きも多
分に罹れ、其の如き多分の
其國情に基き対策を講じしつ
て、其の競争力に海運立國を
緊要事項として存在し列國の
如何に其海運の維持擴張に努
力しつ、あるは、研究の事實たる
べし。日本に於ても近時海運界
波瀾に頻りに論議せらるるの
故に當り、在亞國船主は、
日本海運充実は國際市場上
たるのみならず、一國有事に際し
國家に貢獻する實力を保有す
るに於ても最も緊要なる事
と解し、海運の同業に就て一致
協力と切望し、業界の一員として
諸君の御懇話を仰ぐ次第なり。

祝亞國獨立祭

家坂 喜

(七元)

トリゴとマインの値が接近した
爲、従来代用食として用ひて居つ
たマインの需要が減少したことも一
因となつて居ると傳へられてお
る。
斯く亞国自體の經濟は世界の
勢に左右される点も多分にある
ことを裏面に立証してゐる。今時
に自給自足の國よりも全般に直
つて受ける更に不利な打撃程度
をも推知することが出来る。
勿論斯の間に於いて經濟的手腕
のある爲政治家がれば多少は人
爲的に調節の可能のあること
は否定出来ぬ。
昨年末に於ける *Caja de com-
pensation* の問題に對しては、可成
り非難の聲は高い。將來の是非
は暫くして予断 許さぬが、事
實上現在に於ては亞貨の暴落と
より、爲替市場に與へた打撃は
甚大なるものであることは誰
も認めざる。
海米中の亞國經濟界の権威者カ
ルロス・マレンソン・ケロンキスト氏
の斯の問題に對しては *Caja de
Compensation* は古い型の蒸氣ボ
ンプの存在と同様で一八九一年に
斯れを制定當時は非常な重大な
使命を帯びて居つて、其の效果も
顯著なものであつた。現在に於
ては無用の長物の感がある。

亞國金融市場の恢復を計る道
は、中央銀行に紙幣の發行權若
しくは斯れのコントロールの權限並
びに必要な場合に於ける再割引
の權利を與へることだと意見を發
表して居る。反對に *Caja de
Compensation* の削減者意見は、
しては斯れの問題は何年
も歸して居らぬ。ウルグアイの爲替も
同様下落して居るから *Comptroller*
の削減の必要が敢へて亞貨の崩落誘
導の因ではなぬ。不況に直面した
大勢、茶河ともしすべからざるもの
であると説いてゐる。
兩説の是非の論争は、指くとして
大勢止むを得ざる地味で放任し
ては何時の日にも經濟界が一陽
東春の喜びを感ぜられるが、一陽
に提供された材料を回復の足敷
でも認め得るものがある。
一部米國論者の様に亞國は米英
の恩恵を蒙るべきものではないと思
つて國權を保持すべきものがあると思
ふ。吾等は世界の富國米を此の更
に視野を擲じてメキシコに至る時
同様に於けるであらうか。人為的
經濟政策の動きと其の結果を確
然と兩者に比較して教へられる感
がある。北米の今日の大は果する富
源の恩恵を受け得たであらうか。
其れなら同じ富源の豊富がメ
キシコに何故繁榮せぬか。北米が
ラテン民族の支配下にあつたら果

して今日の大を見ることが出来た
少疑はしむと誰か言つて居る。
斯の言葉は吾々も否定は度くない。
無限の沃野、豊富な食料、並に泉
源を與へられたこと、北米の經濟的
發展の重要條件であつたことは異
論は無い。最近の北米産業のスロー
ダウン *Trade Contracting*、即ち能率主
義・標準化運動は合理化運動の
様々百年の大計を擲つた經濟政策
の結晶である。亞國では現くこゝで
ある。
斯の様は觀て来ると不況の原因は
世間が去る様に *Canada* の
Trade Contracting、即ち能率主
義の進歩方針がはかりで、はかり
様々思はれる。従つて斯れの特種を
對するには前記の様、他方本國は
對しては、いかに、償付、いかに、
農作根本的の恢復を計るには世界の
近代産業の傾向に注目し、斯の大
勢に順應、即ち亞國産業組織の合
理化であるまいか。再び故にト
ロンキスト氏の言葉を借りて、亞國
的經濟の自覺は、並に經濟道徳
の發達に依る外、亞國經濟界を根
本的に救ふ道はないと思はれる。
尤も天賦は恵まれ、亞國農作物の
收穫が豊作である場合、即ち、
し、一時は、好轉を見ることはあ
らうが、天候は自然の支配權であ
り、何人も斯れを予断し得る範圍で
然らば、人々の予想し得る範圍で
前途に於けるだけの光明を與へられ
居るが、漠然とした希望以外に、
吾等も、農業家も政治家も、何等具體
的の好材料を提出して居る。
斯れが亞國の經濟界の現状である。
これが不慮の子、人共、眼に現した
市況の難題である。
(終)

祝 亞國獨立祭	祝 亞國獨立祭	祝 亞國獨立祭
小栗 清	入江儀一郎	五藤金也
祝 獨立祭	祝 獨立祭	祝 獨立祭
瀧波文夫	吉橋好太郎	天野宣直
祝 獨立祭	祝 獨立祭	祝 獨立祭
宮崎八郎	宮崎八郎	天野宣直

祝 亞 國 獨 立 祭

塩 沢 長 助	日 高 喜 作	廣 瀬 寛 治	有 水 藤 太 郎	仲 間 平 助	大 垣 俊 雄
河 野 通 代 <small>新日本園 市内サルミエント街八七〇</small>	福 富 純	福 田 金 二 郎	石 川 芳 範	望 月 豊 吉 <small>市内ベルグライン街一四七〇</small>	高 橋 坂 衛
内 藤 鶴 雄	箱 石 彌 二 郎	萩 野 定 吉	福 田 浅 吉	川 北 平 太 郎	北 川 稔
在 亞 日 本 人 園 藝 會	在 亞 蔬 菜 園 藝 同 業 組 合	日 本 庭 球 俱 樂 部	在 亞 農 業 研 究 會	日 本 小 學 校	在 亞 日 本 人 會

祝 獨 之 紀 念 祭

比嘉廉永	大林多吉	門田勇吉	本田次郎	本間鐵雄	伊藤清藏
原田靜雄	石原生	仲尾藤九郎	岩岡利作兄弟	橋本又市	杉原隆治
上田平作	岡田領治	脇水鉄彌	崎間麗德 全裕司	福田勝市	桐原茂
在亞 農業青年會	在チマコ 日本人棉作 協業組合	在ミシオネス 北進會	染物洗濯同業組合	在亞日本人 自動車 運轉手協會	紅白俱樂部

祝 獨 立 紀 念 祭

仲 新 次 郎	松 井 完 爾	吉 田 富	横 堀 三 四	岩 崎 次 郎	能 勢 忠 平
西 岡 一 秀	西 久 保 喜 一	橋 本 辰 喜	東 利 作	黒 川 廣	秋 葉 新 一
徳 門 清 英	桐 原 茂 <small>ベルグイージュ</small>	原 田 四 郎	岩 住 玄 伍	宮 田 政 市	後 藤 貞 彦
西 長 衛	渡 辺 安 治	坂 本 倉 太	道 源 宗 一	田 中 数 好	坂 本 新 吉

祝獨立祭

榊谷秀夫

祝獨立祭

齊田從義

祝獨立祭

相部善次郎

祝獨立祭

長嶺直哉

祝獨立祭

宮澤次郎

祝獨立祭

吉崎芳太郎

祝

獨立紀念祭

日存野球場

P.U.M.……P.U.M.……レヴメル
ベル(Rubens)の響と共に一
瞬、無意味な沈黙があたりを
包む。

二十三年前の物騒な舞踏場の
光景をふんざ、わが親愛する「タン
ゴ・アル・イン・タイ」は、この場所所
らして、こんな手あひによつて生
み出されたものである。
今こそ舞踏会は社交術の一つ
男女娯楽の「唯一」とされ、夜の灯を
待ち兼ねた若き「タン・ファン」達は
美しい「チニータ」(Chinita)を例
へ「レビア」であつても……と手を組
んでいそいそと会場に集る。

然し二十三年前の「マレー」本座
にとつて、バレイは決して單なる娯
楽ではなかつた。彼等にとつて踊
と喧嘩は不可思議な因果關係を
結んで居る。寧ろ喧嘩をする爲
めに彼等は踊場へ行くのだつた
と言つた方が至当かも知れない。
何処の踊り場でも毎夜血に飢え
た「チニータ」や「レボル」が彼等
を待つてゐた。

彼等は、明かに生命の危険を予
測しながら、暗随院長兵衛が旗
本水野の屋敷へ單身乗り込ん
だ意氣を以て、平然と「ハンセン」
ル・タンボ「エウスタキア」へ出掛け
なければならなかつた。
それだけ彼等「マレー」仲間同の仁義
であり見栄であつた。
「ハンセン」の「ペ・アランド」エルト
ンボの「ファン・カルロス・アルヘリチ
」など、其頃聞えた「マレー」本座も、さ
うした危い瀬戸を渡つて男を賣
つたのだ。

見出す事、出まやう、そして「マ
ンゴ」の甘味は即ちこの二つに存す
るのだ。

◎ Corte y Quebrada

簡單に言へば、「サツ」と「小刻み
に運ぶステップ」が「コレテ」で、
「マンゴ」独特の身振り「ケブラーダ」
かんだが、彼「マレー」は情婦を奪
つた相手と、根柢を骨髄に徹した
仇に對しては、勿論、單に男を賣
る見栄のため、同輩の理由も少
く虎視眈眈、隙あらは、誰かの
土手ツ腰に「チニータ」をぶつて
尻穴をあけやうと、「チニータ」
手に踊りながら附け狙ふ。
相手は相手で、袂先を制して、鉄
砲玉を頭へ叩き止まうと、ボル
シージの上から「レボル」を撫
でながら「ペルカンタ」の肩越しに
仇敵の一挙手一投足を注視す
る。

哀音切々たる「バンドネオン」のメ
ロディアと共に、「サツ」と「小刻
みに運ぶステップ」……突然
ピタリと運動が停止して、ジリ
ジリと体を捻りながら敵を覗み、
再び「サツ」と「運ぶ」と思へば
ピタリと身をゆるぎ、そして……
「コレテ」即ち「コレテ」と「ケブラーダ」
で「マレー」本座にとつては、自己防
衛及び攻撃の爲めの真剣が身
構えの心だ。
一瞬間の隙、それは彼等自身
の血まじりの姿が床に横たふこと
を意味するのだ。
生か？ 死か？——彼等は一流の
達人に依つて行はれる真剣勝負

◎ タンゴの一般化

「ヤツ」マレー本座ののみ限られ
た「タンゴ」開放された後、一般
の町社会に歓迎される様になり、
續いて中流の家庭にも流行し
初めた。そして、とうとう「近年は非
音楽的だ」とか、下品だとか称して
極力排斥する上流社会の一
部には侵入するの勢を示すに至
つた。
かくの如く「タンゴ」は「ブエノス・アイ
」ス全市を風靡すると同時に、一方カンボ
にも猛烈な勢で流行して行き、最早
「ヤルゼン」チン中何処の里へ行つて
も「スルケスタ」や「ピカ」は奏せられ、若
も「タンゴ」を踊り狂つてゐる。
然し「タンゴ」の津波はそれのみに止
まらず、遂に國境を突破し、遂に
遠く智利、秘魯、墨國の地方へ迄波
及び、南米の津々浦々を征服する
に至つたのである。

然し「一般化」といふことは同時に俗
化といふことにもなる。
「タンゴ」もさうだつた。
最初「マレー」本座が生死の間に身構
えた「コレテ」と「ケブラーダ」は一般化
するに従つて、次第にその真剣味を
失ひ初めた。
そして「ヤツ」中流から上流社会へ
入つて所謂「タンゴ・デ・サロン」(Tango
de Salon)といふものに姿を変える

と同時に、昔の型は跡方もなく壊れ
去り、味も素っ気も無いのつらら珍
かものになつてしまつた。
従つて「コレテ」と「ケブラーダ」の好い
所も、今に至つては、今では殆んど見
る事に入らぬ。現在「マレー」本座
トロで渡せられる「タンゴ」の「パロディ
」(Parodia)は、この「コレテ」や「ケ
ブラーダ」を滑稽化してゐるのだが、
唯、醜態極まる昔の面影を残して
ゐるに過ぎない。

◎ 改悪された歐洲タンゴ

「タンゴ・アル・イン・タイ」を歐洲に
持つて行つたのは十数年以前で、エ
リック・サボリドが最初だ。
彼は「パリ」から倫敦へ、知名な藝
術家や上流の家庭へ出入して大に
「パロディ」をさせたが、ほんの一部の
好手家以外に宣めることは出来
なかつた。

歐洲で本當に一般化したのは、つい
二三年前の事だ。輸入された「タ
ンゴ」は、直ぐ歐洲人の手に依つて
変へられてしまつた。
それは「美化」されたものかも知れ
ないが、一面から言へば、改悪せられ
た。それはほんのちのちで、本家本元
の「タンゴ・アル・イン・タイ」とは、改悪も
つかない珍妙な藝術的のものに化け

てゐる。
勿論、近末「パリ」あたりで流行す
る「オルケスタ・デ・カボ」なるものは
アルゼンチンからの新婦朝者(2)と
称する。波蘭人や何んか、怪
しげなガウチョの服装をして、調子
は平れ、メロディアルス、ケブレイ
ン、ディアーナ、カボ、無慮、おどおど
訃りで唄ふが、いとも、幾かに、幾
で、るんだから無理はふいけれど……

況んや、此の節歐洲から輸入されて
日本で流行し初めた「フレンチタンゴ」
改悪は「ジャーマン・タンゴ」に於
ておや——まさに「醜」の化けで
ある。
「フレンチタンゴ」などは、わざと
専門の教師を佛國から招聘するし
たうらうが、道化た「パロディ」を尚
一層醜態にもちつて、社交ダンス
で遊ばしは、さうと、醜で過ぎる。

◎ Música de Tanga

さて、今迄述べて来た事は、舞踏と
しての「タンゴ」に就てであるが、「タ
ンゴ」全体に對して論ずるならば、
是非「タンゴ」の歌曲に返さざら
ければならぬ。
何故か、それは「タンゴ」の歌曲は舞踏
と共に車の両輪の如く相對して居
るが、もと、舞踏と離れた
獨特の榮盛を遂げて居り、又歌曲
は歌曲として全然独立して存在
し得るからである。

さて、
「タンゴ」の歌曲は「Tango
Argentino」の起原、の項に於て、既に
述べたが、今から廿年程以前、單純
な「タンゴ」(La Milonga)
から生れたもので、幾多の變化を

経て「タンゴ・アラントロ」(Tango Amalator)に至ったものだ。然し「タンゴ」のキャンキンは最初「タンゴ」の情事を彼等の所謂「タンゴ」の詩人が唄ったものである。

従って彼等「タンゴ」の生死の同位を以てしう真鍮の態度や血生臭の情事を唄ったキャンキンは依り「タンゴ」独特の沈鬱な情緒が生れたのだ。
苦惱と愛と美の神秘的な幻想、享樂、脱美のメロディアスな織り込まれた不安、悲哀、怒恨の切々たる哀音のシンクニヤ。
これ等「タンゴ・アラントロ」の持ち味はさうした條件のせいで、舞臺舞の中からは醸されたものだ。

そして、若しこの「タンゴ」を唄ふとすれば、絶対に藝術的ハイインテラノのトレモロなどで唄ふべきではない。
美しい地声に依つてのみ「タンゴ」の情緒は發揮されるのだ。

◎ 現今のタンゴ界

だから、この複雑極まる気分を遺憾なく表現して唄ふことは余程困難なことである。
これだけ一般的になつた「タンゴ」を現在、上手に唄ふことが出来るのは果して何人あるだらうか？
男声は別として女声に至つては恐らく五指にも達しない。
アスセナ・マイサイニ、ロシータ・キローガ、ライタ・メレージョ、ソフィア・ボサン、雲霞の如く舞る多くのキャンキニスタの中で、先づ名前の挙げ得るもの

のは「タンゴ」のものだ。このうち「メレージョ」はボサンの稽古した「タンゴ」に独特の味を持つてゐる。



然し「タンゴ」の流行は左に從つて、題材も「タンゴ」の社会から出て一般的になり、同時に歌詞も曲もコミックになり、昔の沈鬱な哀調を失つて来る

又、題材が題材だけに「タンゴ」の歌詞には西班牙語の字引を二頁にわたつても見出すことの出来ぬ「タンゴ」特有の用語が多々用ひられてゐる。

傾向である。現代のタンゴ作曲家は無数といつても程であるが、その中でも最も有名なのは Juan de Dios

Filibeito, Canche Gadel, Quilbero, Gata, 等が有名である。作曲家は Juan de Dios, Filibeito, Canche Gadel, Quilbero, Gata, 等が有名である。
「タンゴ」の流行は左に從つて、題材も「タンゴ」の社会から出て一般的になり、同時に歌詞も曲もコミックになり、昔の沈鬱な哀調を失つて来る

◎ 昔の「タンゴ」

昔の「タンゴ」は、Magique (Sa Monchocha) 等が有名である。作曲家は Juan de Dios, Filibeito, Canche Gadel, Quilbero, Gata, 等が有名である。
「タンゴ」の流行は左に從つて、題材も「タンゴ」の社会から出て一般的になり、同時に歌詞も曲もコミックになり、昔の沈鬱な哀調を失つて来る

◎ 「タンゴ」の生命

然し「タンゴ」の生命は構はつた。昨日、肉體の小僧が唄つてゐた「タンゴ」は最早や今日は忘れられてしまふ。
「タンゴ」の生命は構はつた。昨日、肉體の小僧が唄つてゐた「タンゴ」は最早や今日は忘れられてしまふ。

Yo la morocha
[Argentina,
La que no admite
[pauses,
y alegre para la
[vida
con sus cantores...

LA CUMPARSITA TANGO

Letra y Música de
G. H. MATOS RODRIGUEZ

Para fin 8^a alta con sordina

VIOLIN

2^a vez (4 cuerdas)

Violin 1^{er} vez Pizz

PIANO

「Cumparisita」は「Compañerita」の音類に入るだらう。然しそれ半にも増して長い生命を深つたのは三四年以前より現在に至るまで、カフエのホルステ・ティビカに、ティスコにホルテ・ニヨ達の口笛に操り返へし、操り返へし奏せられ唄はれてゐる。G. H. Matos Rodriguez 作曲 並に作詞の La Cumparisita である。

この「タンゴ」は、曲の美しいのと變化に豊かであることに於て唯一と称せられた名曲である。左にその歌詞の訳文を載せ、此の稿を同ぢることとする。

『ラ・クンパルシータ』

はつふさ限りなき
「コムパルサ」の行列
死の歌なき病人の
地獄に通ふ
病の床のすゝり泣き
憶ふ多き過ぎ来し方を
想ひ起して
問ふ泣く。

頼りすくなき
老母を捨て、
狂ひし情熱に
前へし志に
悪人の跡 薫か行く、
妖艶たりし彼女は
燃ゆるが如き情火の花は
遠く、ろくに飽きし時、
男の愛を
見棄て去りぬ
時刻は過ぎ

傷つきし心を
病み衰へし身を
癒やさんとて
家に帰れど、
見捨てられし老母は
去年の冬
近きて狂まらず。

今ははや寂美き運命に
孤独となりて
やがて回悉き
死の黒き影に
うつしみを蝕む
冷き数帳に
放埒の子は
生々しき罪の想ひを散く。

この暗き中に
慄み喘ぐ病人、
み空の亡母の
許容は、
苦惱を鎮め
樂しき
安息は近し、
最後の愛の
悲しき微笑

註「コムパルサ」(Compañerita) は西班牙語の「コムパルサ」の意で、カレナル祭の夜、街をおり歩く音の群をいふ。

祝 亞国獨立祭

大 山 綱 國

祝 亞国獨立祭

佐 藤 貞 次

全 貞 則

祝 亞国獨立祭

山 本 栄 治 郎

一端を割き、多くの空玉をとり出だし、以て客人に示せり。是に於て客人一同は初めて彼が真の大航海家マルコポーロなる事を認め、又彼等三名の珍談を信するに至れり。

其後彼は人々の勤めにより、彼が支那滞在中や印度等にて見聞せし事柄を委細にもし、マルコポーロと呼ぶ一冊子を出だせり。食ふに困らす虞るに困らす虞る自適の生活を送り、千三百廿三年、六十九歳にて昇天せり。

十五世紀の末葉、伊國「ゼノア」の住人「コロンブス」が此遺著を讀み、且つ學者の稱ふる地球は圓しとの説を信んじ、西國の女王「イサベラ」の助ケにより、千四百九十二年八月三日西に航する事とせられ、マルコポーロと「コロンブス」の因縁依て傳へられたり。

○酒呑童子

大江川の酒呑童子に因りて、我が邦の學者先哲は如何なる説と述べる。是等は毎せざれど、悉く仙家するに彼等は断じて西の國の酒呑童子の水夫夫にはあらず。當時は九世紀の末葉にして、遠洋航路の街に暁し居りしもの、唯だ話の「バイモン」の海賊團ありしのみ、又海潮の方向より考ふるも、九州の近海、本洋沿岸に居り居りし船隻、運送利加や南米の南端を運り、東洋方面を漂流致す者、是は決して之れなきなり。

然れば古時、諸島の海賊團中、或一團は探奪の目的にて北洋の海に漂水す（五月下旬より八月中旬までは）と持ち、西北利亞の沿岸

に沿つて航し「ベリリング」海峡を通過し、更らに「カムチャツカ」半島の沿岸を横索し、樺太島を左に見て日本海に入り、二百十日が二百廿日の暴風、遭難致し、破船の結果止むを得ず、天の橋立に命からがら上陸せしも、毛色の異りし彼等の事、本村は忽ち土人の襲撃に逢ひ、大江山へ逃れ、必し幸と存せらるるなり。

其後氣の毒にも酒呑童子は、類光様に、薩摩を「チヨウ」切られ、其他の面々は、孰れも金時や渡辺の細等に是れ治せられたり。

○不思議なる蒙古族

昔も今も蒙古族は温順なる遊牧の民なり。然れど一度英雄豪傑の彼等の間に出現するや、彼等は忽ち、勃發世界を震盪せしむる一大勇猛なる民族と相成るなり。

多くの世界の英雄中、特に成吉思汗に対し、是れ口好むる成吉思汗の家すら完全なる英雄として崇拜し居り、愚仙も亦崇拜し居る一人、彼は決して源義経の後半身にはあらず、彼は實に智仁勇兼備の英雄なるなり。

彼が新付の風に染ふる書中の一節に曰く、義経は君臣にして、情は父子の如し、と宣ふる教、百年間に亘り、露帝「イバン」三世の出現致すまで、まさき蒙古を其治下に置けり、忽ち然も亦支那統一、後北條時宗に送る書中に祖父の言を真似て「義経は君臣にして、情は父子の如し」と申し居たり。

○「マルコポーロ」の父と叔父

政理の商人なりと云へど、愚仙矣す

るに、彼等は今日の國事探偵所謂支探にてありしならん。然らば、北に到着後、彼等一同が忽ち烈より優遇せらるる、苦もなげれば、又「マルコポーロ」官中の人と相成る事は、断じて能はざるなり。相成る事は、断じて能はざるなり。相成る事は、断じて能はざるなり。相成る事は、断じて能はざるなり。

○「パミール」高原

「パミール」高原は、瑞西の「アルプス」山脈中の最高「モンブラン」の一萬五千七百八十尺より高きこと五十五又余の高原地帯にして、周圍には、猶ほ數千尺の高原を有す。露領「トル」スタンの東南端にして、英領「印度」や西蔵と隣接し居り、遊牧の民は、敢て空気が稀薄なりとも、是は又吾人が想像し居る程寒からざるものと見へ、新鮮も致し居るなり。

西蔵も亦海抜三哩の高原地帯なり。

○「タリム」河

「タリム」河は「パミール」高原に近き天山連脈中に其源を發し、「コク」タンの市附近に至り、堂々たる大川と相成り、魚も住り、舟も浮び居るなり。然れど、「コク」の沙漠の南端、ロブル市附近に至り、渺々たる淺き大湖と相成り、水は全部「タカラマカ」ン湖へ吸収せられ、漸時蒸発し去るなり。然れば此河のみに、是れ下に海とぶるべき山水も、無し木の下に下るなり。この名は、あてはまらざるなり。

Japanese
Silk Supply
DE S. OKABE
CHILE 910 5^{to} piso Derecha
U. T. RIVADAVIA 2349

増山豊吉

祝 亞国獨立祭

出口貞三郎

稻尾孝樹

祝 獨立祭

祝 獨立祭

岡部壯一

噴火山

狂自生

政界の雲行きを眺めつ、機に
 應じて内閣を乗り取らん程の
 不心得が野もよく、ホルデー
 ニヤの足の美に現つ、と抜かし紅
 い唇に驚異の目を刺し、程の女
 性讚美者でもなき、吾れ噴火山
 二、に筆を絶ちてより、歌詠み頃
 こねし西行の、旅姿の風采よろ
 しく、只ツク然と日とすす事既
 に一歳有半、

勢振りを、今英國の惨劇なる
 由を叫び、独立と騒動する幾多
 の印度独立の志士の心に何ん
 と映るであらう、
 無勢力より、向進勢力へ、世の妻
 邊は個々の民族を自覚せしめて
 行く、その極に至れば亦た下り坂
 になるのは過去の歴史が如実に
 物語つてゐる、

印度は今や、浮沈子に下り坂に
 なる時であるが、浮き上るべき可
 能性は充分に持つてゐる、
 民族自決を為すだけの自覚と
 能力が國民にふくらば、適當な
 指導者の國の下に自治政
 治をやる事は、悪くはない、
 在印度七方の小教養人の武裝者
 (英人は皆護身用の武器を携帯し
 てゐる) 印度三億の九億(武器
 非所有者) 狂獸の鳥の護身用
 すら)の民を高圧的に統御して
 ゐる、

産業に工業に、商業に、國土の人々
 はその概念すら興へられずして、
 皆英人の糟粕を飲めたる有様
 だ、道徳的に考へるならば、植民
 地を得ることは、余計な世話と盡
 力をその國に為す位に考へ、何
 れはさらば、のぞき、
 金銀獲得主義の西班牙植民の、そ
 の結果を見、実に惨の限り盡
 くしてゐる、
 事百年にしてその非を改めざる英

熱国の悩み

曾つてはアハシエロス、即ち印度
 リ、エテオピアまで百七十三州に
 勢力を弘め、ペルシヤの貴族、メ
 アの騎士、諸州の牧伯、將軍達を
 引見して、豪華當時に比ぶるも
 ぶかりしシニヤン王城の面影を
 今何処にやある、筆を絶ちて
 誇りし當時の大玉、アハシエロス
 の面影、何処にやある、

相変らず

野良犬の様に、
 ダを歩く、東京ならばさしあたり
 銀グラとでも去はらうか、
 ら先ずフロラだ、
 冬の初めだ、面打つ風は冷かだ、
 人情も冷かだ、ラ、プラタ河の濁
 水も冷かだ、
 されど、これとホルデーニヤ達
 の口唇だけは相変らず、
 寒暑の差は、赤い唇、色失せぬ
 同に、
 なんて、歌は、ふくてもよい、あの小
 ぶ、クルテラの中には、彼女の口唇の
 右返り材料が、ウーンと息入つてゐる、
 五十のスタイルドミスも七十の婆櫻
 も、御注文に、應じて、電車の中
 で、赤い唇の、パンコの上でも、一分同
 じで、赤い唇、立っ様、口唇と、なる

プラサの與太公

事が出来る、
 赤い口唇の、安い、さ、さ、でも、評價
 します、サネ、
 歸り、ふん、帰、り、ふん、田園、將に、荒れ
 果てん、
 と、柄にもなく、下君は、放浪的、詩人
 陶淵明の、一句を、口吟、だ、
 病後の、下、の、類は、青白い、そして、何
 だ、ヒステリック、赤顔、に見、へる、
 その、下、の、横顔、を、暫く、見、て、お、た、例
 の、與、太、公、
 帰、り、ふん、帰、り、ふん、か、遊、子、の、魂
 あ、れ、荒、さ、び、下、の、ノ、グ、イ、ア、正、に、嫁
 さん、笑、ハ、ハ、ハ、
 と、交、ぜ、つ、て、さ、美、しい、幻、想、を
 追、ふ、薄、命、の、詩、人、下、は、怒、り、出、した、
 初、冬、の、下、の、フ、ラ、サ、は、氣、持、が、よい、
 私、は、消、え、て、行、く、煙、草、の、煙、を、眺、め、
 ながら、二、人の、会、話、を、聞、いて、ゐ、る、
 與、太、公、兄、談、は、よ、せ、信、頼、し、て、
 ゐ、る、俺、の、彼、女、は、そ、ん、な、者、じ、や、あ
 り、俺、が、四、年、や、五、年、や、異、國、に、ゴ、ロ
 つ、い、て、も、彼、女、は、俺、の、帰、り、を、待、つ、て、
 ゐ、る、ん、だ、先、日、も、手、紙、が、未、だ、じ、
 や、ない、か、一、日、千、秋、の、想、で、あ、な
 の、帰、國、を、待、つ、て、ゐ、る、一、東京
 の、初、夏、は、暑、い、す、す、そ、して、私、の、心
 も、燃、え、て、ゐ、る、と、さ、
 與、太、公、は、ク、ス、ク、笑、み、出、した、
 馬、鹿、だ、ね、君、は、未、だ、甘、つ、た、る
 い、幻、想、に、酔、つ、て、ゐ、る、の、か、い、君、
 ぶ、程、あ、の、女、は、し、つ、つ、り、し、て、ゐ、る
 前、世、の、因、縁、で、極、く、密、接、な、関
 係、が、あ、る、よ、考、へ、て、見、給、へ、餅、に、あ
 ぶ、れた、ゴ、ロ、犬、の、様、に、ゴ、ラ、ク、と、
 毎日、パン、の、切、れ、つ、は、し、を、求、め、歩、い
 て、居、る、僕、等、が、悲、ふ、ん、て、……、

精力比べ

古今東西の要安録を讀む、
 讀み、来、り、讀、み、去、り、只、だ、唯、然、と
 して、發、噴、する、精、力、家、は、何、ん、と
 云、つ、て、も、支、那、の、玄、宗、皇、帝、だ、
 後、宮、三、千、の、美、花、春、汀、に、そ、の、美
 と、競、ふ、と、か、沈、香、帝、北、欄、干、に、花
 と、觀、る、と、か、免、に、南、口、マン、テ、
 ック、が、王、者、の、ラ、グ、シ、ン、を、

想像せしむる。此の玄宗皇帝は、話半分にして、専ら一千五百人は在つたであらう。毎日平均九人十人位づ、園房に奮闘せねば、年末までに総決算が本末不釣り合になる。如何に蛇蝎料理を食ひ虎の陽物を食つても、羊の局部料理の癖を集めても、これじゃやま玄宗皇帝が重すぎる。さうあらばあれ、帝の御情け凡マの妻妾に行き届かずして中には凶々の情耐へ難く、着夜密かに若い紫を後宮に呼入れて、取崩は時ならぬ動搖を起した事であつたらう。

帝王談の一節にも——妻妾虐殺九千人、南山の余煙旬日消へず——云々の文句がある所を見れば、集めて来て飽きの末た女共を虐殺して、南山の麓に焼きた、その数が九千人。余煙蒙々として、数日消えなかつたとは、真面目に受取り兼ねるが、萬里の長城をすら無造作に築いた程の向ふ見ずの男だから、真更根柢のふい事でもふいらしい。

くは南の國シバの果より、エジプトより呼ば集め、ソロモンの前にソロモンをなぐ、ソロモンの後にソロモンをなぐ、その豪華振りを發揮し、好色漢たるを史に残したのである。その他、エヌテル書に見ゆるアハシエエロス王、シユシヤン王、城に色を漬けたのも有名な話だが、未だ番附けでは幕の中では下の方だ。ローマの暴君ネロなども、随分惨虐が行はれたらうが、此の方面にはサッパリ特殊がない。アレキサンダー、成吉思汗、シーザー、奈翁、好色を以つては僅に一方の旗頭だが、前記の御尸々には及ばない。要するに、こゝろ調子外れの發展振りには、腹も骨も専ら政治の副産物で、一婦對一夫など、八全敷く叫び、婦權なんぞと騒ぐ今の世の中では一寸見られぬ場面である。

彼方

虎珀は起ちて東天を指した。西楚は坐して西天に溟回した。兩人共無言である。——「なれ程、これでは別にもならぬ。虎珀は東天を指して、溟に出でんとする太陽の意氣を、西楚は西に寂滅する月夜に、無常を悟つた。個々各自から去つて、白塵に離る意味が判らぬ。意味は虎珀が指した彼方にあるのであらうが、善いた俺にも判らぬ。意味も彼方にある。ソウイアル彼方には、希望も悲観も承認も皆彼方にある。人は彼方を見つければ、

祝 獨 立 紀 念 祭
結 方 義 雄 鈴 木 帖 九 郎
池 田 誠 造 坂 場 三 郎
中 村 陽 三 佐 伯 克 太 郎
指 縮 一 男 廣 中 仁 一
ペ ド 口 小 園 南 保 正 治
大 迫 繁 藏 梅 山 莊 一
平 川 末 友 大 島 健 一
石 幡 任 河 村 三 郎
原 田 旭 巖 長 江 定 吉 郎
菅 沼 九 太 郎 谷 口 萬 年
小 川 勝 治 右 田 綱 助
中 野 萬 次 郎 山 内 輝 彦
市 吉 眞 市 山 脇 龍 雄
稻 富 忠 澁 谷 源 助
上 田 秀 之 助 水 野 勉

湧泉響音曲

X X X

夜明けの道が淡黒く見え初め
た、明方の空は、しつとりと明るく
白み黎明の微風をそよぐ道端の
草の葉の道にうつるすべてのも
のび光りの朝への生々とした動き
とつけてある。

何んともわが踏む道にも夜明け
来た様を氣にする。

あの深刺たる夏が逝いて元氣な
青年がヒョコリ死んでしまつた
やうな悲しみに淋しさが湧いて
間もなく、もう秋の姿がツツキリ
と色濃く浮き出して冬への行進
曲を奏し、つづつと想ひは纏
を下り橋を越へ川波を流し懐し
く私の胸に帰ってくる。

ぼがらふ秋晴の朝、近くの街路
を疾走する自動車の警笛も大
氣を劈いて躍るやうに聞える。
こんふ日にはグラウンドとぶら
ウンドは残らず元氣に満ちた学生
や、たくましい体格の青年やまた
軽快な若い女性達に満ちてあ
ることだらう。眞實に整然と引
かれたラインや、ユニホーム姿が目
に見えるやうな氣がする。また球
を打つバントの空い音や、ラケット
の弾んだ音が耳に聞えるやうな氣
がする。

かつてオスビタル・アルベールの一空
に横つてゐたさ君が、こんふ日に感
じたであらう寂寥が、シンミりと

残星

X X X

今更のやうににじん
てる、病弱な人間には
いっただつてさうだけれど
こんふ日には際だつて
世の中が置き去りに
された様を感ぜられ
て限りの寂寥を覚え
る。健康は生活の第一義的要素
であるそれを失つたものには完
全な生活が、他にようふけれ
ば生きて行かぬ生活なのだ。
私は——輝く秋の日は健康者に
とつて盡き、不幸のシスターで
あらうが、病者も寂しさを靜
かに噛みしめて、朝がふた空を仰
ぐべきである。輝かしい陽の光を
心の奥まで浴びるには、時である
そして、やがては肉体的にも精神
的にも病める体を改造し、心とフ
レッシュにして社会に有意義に
働きかける日を待つべきである。
わたしは、近く秋の熱情とやが
て来ん冬の温帯を眼に見る。

明るい陽の光りが消えて明るい
電燈がまた、きつせす氣味悪る
く光つてゐる。此処は武市の街街で
ある。

時が進むにつれて、デズカカフエ
に目ぐるましい珍妙な別天地を
現し出す。無表情が塗つがした
顔と、物憂さうな軀全体に無理
矢理に笑みを浮かべて一人でも餘計に
客を引くつげやうと、狂燥の中をよ
らつて行くコケットの、自由と明るい
健康への絶ち難い憧れに胸をこ
めする。それは青春を惜しむ哀愁
の曲のやうだ。

都会は今青春期、華やかな街頭

X X X

の喫茶店や酒場はそれを表徴す
る面だ。その筋の股が光つて恐
ろしいおぢさんの手で潰して、
また新しい扮装を纏らして現れ出
づるカッペレ、一九三〇年の武
市の港町は正しく青春期にある。
世間は沸騰し、泥濘する。半掛け
の月は海へ、つてゐる。街は青々
めて死人のやうに、街路樹は木い吐
息を吐いて身を震はせ、つら生に
疲れた人々を無言のまま、見つめ
る。夜は静寂へ、陶酔へ、更けて行く。
寂しく、悲しく、愉しく……。

英國の印度に対する悪性を帯び
た行政政策に奮起したガンガ
氏は曾て彼が有せし対英好愛も
今や憎悪の念と裏り、奮然起つて
印度独立のために一生を捧ぐべく
独立運動を導き初めた。
その壯途を雄まじ、されと彼は遂に
英官憲のために捕はれ、身となつ
た。

彼英國が西曆一七五七年に始めて
カルクッタ地方を侵略して以来全
印度を征服するに百年を費して
ゐる。即ち一八五七年に至り漸く全
印度を征服したのである。

英國は短期間にて征服し得たので
あらうところの武力によらず外交
的離間政策を用ひて、氣長に征服
したのである。それ以来、英國の印
度に対する数々の巧妙なる要政
に對し、今日の印度は最早完全な
る独立でなければ満足しない状態
に達置かれてゐる。

今、英印の間には二つの問題が持ち
上つてゐる。即ち英國は印度を敵
にするが、友にするのである。印度は

早やかれ置かれ独立する可能性は
十分ある。若し英國から印度に
独立を與へれば、英國は印度を及
にして置くことが出来る。然し印
度が自力によつて英國から独立權
を回復すれば、印度は恐らく英國
の敵として行くことだらう。注目す
べきは今後のなりゆきである。

捕れふる印度國民は、幽禁さる痛
の空が、落ちてくる。その目暮し、苦
役に違はれ、疲勞し果てた眼は、
血の様に、零落した露の様に、涙も
血の様に、零落した露の様に、涙も
瀧した暴雨、貧乏資本家の強
視に東縛された考案に、つられし次
の夢は呻吟する。ナツ、腹に衰弱
した体を、死息のやうに横たへた多
くの汝等の友を見る。暴風にはた
ぐれ、採取する難に、き、まれ、働
けなければ生きてゆけぬと云ふ
の、鉄板のやうに張りつた君等
の胸は、明日、大奴の腦髓を射殺
するに磁がれてゐる。

からつ風が氣味悪くつめた。晚、わ
たしは、こんふを考へて見る。或は
は印度國民は、重圧された甲羅を
破つて新生命への進軍を續ける
かも知れぬ。或は、灰色の空の下に
進めるかも知れぬ。灰色の空の下に
は、今、皮肉な運命に、敵く彼等の群
は、はた、心臓の脈動を押さへ、さ
らうのこゝろにゐる。

(一九三〇。五。ワイゼンチ、ローヌに)

祝 獨立祭
廣 中 仁 一

祝 獨立祭
竹 原 太 郎

祝 獨立祭
羽 生 兄 弟

祝 亞 國 獨 立 祭
明 興 園

祝 獨 立 祭
賀 集 兄 弟
市 内 オ ル チ デ ー ラ 街
三 五 七
全 コ ネ ー サ 街 四 八 五

Caminito

2ª Parte

Desde que se fue
triste vivo yo
Caminito amigo
yo también me voy.
Desde que se fue
nunca más volví
requiere sus pasos
Caminito adios.

1ª Parte

Caminito que el tiempo ha borrado
que juntos un día nos viste pasar
he venido por última vez
he venido a contarte mi mal.
Caminito que entonces estabas
bordado de tribol y guineas en flor
una sombra ya pronto serás
una sombra lo mismo que yo.

1ª Parte (Bis)

Caminito que todas las tardes
felig recorda cantando mi amor
no se digas si vuelvo a pasar
que mi llanto te suelo regar
Caminito cubierto de caridos
la mano del tiempo nos mate a los dos.

寒人遊きて
如何に悲しくわのまじし。
野辺の小徑、わのまじし。
寒人遊きて、わのまじし。
永遠の旅路を辿らん哉。
野辺の小徑。

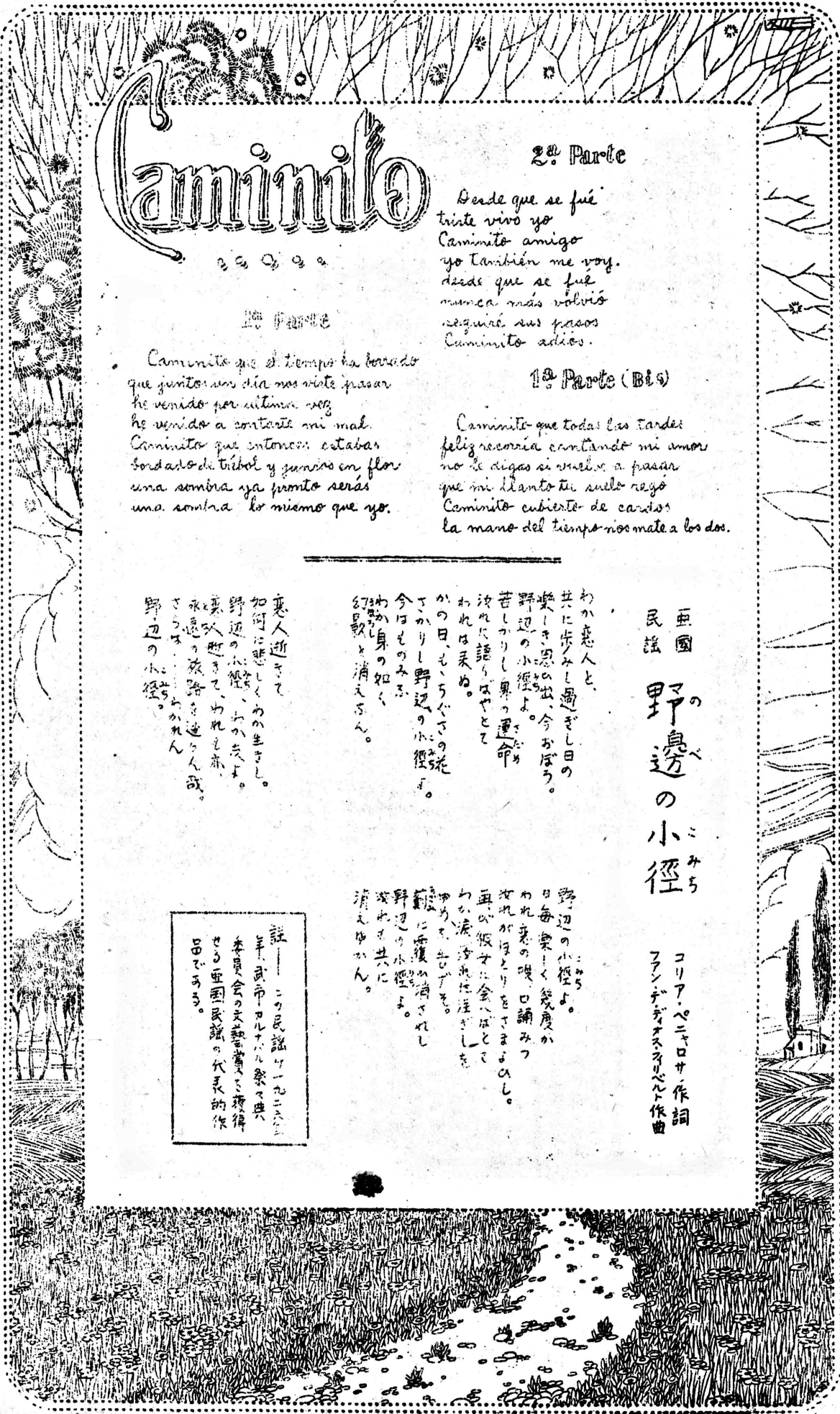
わの寒人と、
共に歩みし過ぎし日の
懐かしき思ひ出、今おぼろ。
野辺の小徑よ。
若かりし果ての運命
汝れに語り、はやくとて
われは来ぬ。
かの日も、うぐさの咲
下かりし野辺の小徑よ。
今はそのみま。
わの身の如く、
幻夢と消えん。

民謡
野邊の小徑

コリア・ベニキロサ作詞
フランシスコ・スルベト作曲

註——この民謡は一九二二年
年、武市コルナル家マロハ
本委員会の手記を著し、獲得
せる民謡の代表的作品
である。

野邊の小徑よ。
日毎、果てなく、口誦みつ
われは、果てなく、口誦みつ
再、汝れに語り、はやくとて
われは来ぬ。
わの身の如く、
幻夢と消えん。



ブエンスアイレスやなぎだる

念然坊

「後妻や昨日は東、今日は西」
狭い日本もほろほろと、来るや
の重不然丁の都会は、巴里に劣
らぬその美しき、街々を過る歩
めは、大にあらぬ川、椰子も棒にも当
り、響を覚えて、駭けり候。

波止場

大船、小船行き交り、行方は何處
歐洲が北米指して、煙もさすかに
り行けば、人知れぬ波に打濡れて、
知人か、悪人か、妻か、夫か、遠くに
り行く人影を見送る、波止場の
有様は、無情のものを、もよほに去
はれぬ悲しさを、暫時は感ぜら
る、なり。

アベニダ・デ・マヨ

アラサマヨと通り抜けて、武市チー
の大通り、五月通り、に乗り込めば
右にラ・フレンサの女神像、微かな
光手に捧げ、大なる新聞照らす
なり。

ラバーゼ

マンヌイズムの世界、踊はホリーウ
ッドの活動寫真に化して、眼で樂
しむは、倦き足らず、耳まで聞か
ねば、眞の映画に非らざるか、ト
キ、トキとニペン三ペン、前より
く棄つた、ラバーゼ、街に打並ぶ

プラサ・コングレソ

イリゴエニスタ、アンテ、ベルソナリ
スタ、ソニアリスタ、世に入り、
自動車、電車の雑音を外に見て、
泥仕合に花を咲かすは、東京
は、日比谷、武市、カジャス、リバ
ダ、ア、国会議事堂と相場、に交
り、は、打、つ、て、
ラサの隅に、シオン、ボリ、と、入、り、想
に、脱、け、れ、る、ロダン、の、瞑、想、像、
が、う、も、懸、念、思、案、も、あ、ら、は、な、い、
い、思、案、思、案、も、あ、ら、は、な、い、
は、り、冥、想、も、迷、想、に、な、り、て、何、だ、
静、か、ふ、場、所、は、な、い、も、の、か、と、人、に
も、告、げ、で、困、り、居、る、な、り。

海岸通り

寒む、そ、う、に、港、を、向、い、て、立、つ、て、
コロンブスの銅像のプラサ、コロン
より、レ、ア、ン、ド、ロ、ン、ア、レ、ム、に、出、す、れ
ば、俗、悪、か、我、羅、苦、多、飾、り、て、
コ、ロ、シ、ア、の、猶、太、人、店、を、並、べ、て、
員、の、懐、を、狙、つ、て、る、様、は、浅、き、
さ、限、り、な、り、。それ、に、ドン、チ、ヤ、ン
ガ、ン、チ、ヤ、ン、。ベ、ー、に、は、音、楽、か、き、
し、ヴ、ア、イ、ス、リ、ン、持、つ、手、に、メ、ー、サ、に、
波、の、曲、球、ま、し、一、曲、奏、の、は、下、り
来、り、狂、態、の、限、り、を、盡、し、板、子、
一枚、下、地、獄、の、船、乗、共、に、一、夜、の、快、
樂、な、り。

マイプ

何だ、静か、な、所、が、欲、し、い、と、
度、磨、さん、が、羨、し、い、と、瞑、想、を、
瞑、想、の、鏡、イ、リ、ゴ、エ、ン、は、聞、き、入、れ、
な、り。

マイン

夜は十時の鐘の聲、諸行無常の響
け、とも、テ、ア、ト、ロ、カ、ン、の、ガ、マ、ス、
ン、ド、。音、音、必、承、の、理、を、打、ち、消、し、
て、オ、リ、ン、。ア、ア、。附、近、の、パ、ー、は、煙、草、
に、て、一、面、。煙、草、を、吸、つ、て、先、も、見、
わ、づ、す、白、粉、口、紅、コ、ラ、。と、勝、つ、
狐、が、化、物、が、。色、取、々、の、女、産、。左、右
に、押、し、分、け、。マ、。空、いた、テ、

祝 獨立祭

田 中 乙 吉

祝 獨立祭

鈴 木 驥 一 郎

祝 獨立祭

大 崎 繁 松

メルカード
エス・ピネート内

パタ克蘭

酒に女の亭も一夜だけ寝じや... 酒に女の亭も一夜だけ寝じや...

此はバレンチン、コチマー... 此はバレンチン、コチマーの...

船乗は歌より裏ふと... 船乗は歌より裏ふと...

フロリーダ

東京は銀座に、プアはフロリーダ... 東京は銀座に、プアはフロリーダ...

と、朝から晩まで一生懸命働い... 与、朝から晩まで一生懸命働い...

午後のお茶時、五時六時、お腹... 午後のお茶時、五時六時、お腹...

フロリーダ、急ぐ用には間に合はず... フロリーダ、急ぐ用には間に合はず...

乗物は後から後へ... 乗物は後から後へ...

運轉手、歩くラッパをいり... 運轉手、歩くラッパをいり...

競馬(バレル天)

競馬(バレル天)... 競馬(バレル天)...

鳥之捕賢(三)

と、難しき論議の句を知る者は... と、難しき論議の句を知る者は...

今日のワポリトは何と、貸と財... 今日のワポリトは何と、貸と財...

下町(バラカス、ボーカ)

工場、汽笛に目をこすりつ、... 工場、汽笛に目をこすりつ、...

川、洋妻百態

毛産さん嬢に貰つて食せし... 毛産さん嬢に貰つて食せし...

田中長造

梶田修一

祝亞國獨立祭

大井得二

石井白帆

石井白帆



俳句

独立の志士を偲びて
狂月

リベルター志士の叫びやひと時雨
リベルター心も晴れて今日の舟
鉄鎖断つ響の冴ゆる霜夜かふ

北洛 葉 銀河

一葉二葉三葉條懸の落葉かふ
落葉横出たぬま今日の日和かふ
あひきのをどこへなに落葉かふ
朝寒の公園ぬけてつとのかげ
朝寒の柱によりて汽車を待つ
明月に南極星もあらはる、
壺をもて取爾然丁の火跡とす
歯を出して笑ふ狂女や秋の風
たい白く動かぬ雲や日向ぼこ

秋 雑題 蘭 緒

河端や秋風の道群雀
旅枕かりねの宿や雁の列
我が旅の友にもなうで後の月

和歌

旅の宿物思はする秋の暮
病み馬の嘶き弱し初時雨
またら強く人もあるらし初時雨
音静か時雨る、夕や帰り馬

河野繁子

我が庭の落葉紅葉にふりそく
夕降る時雨の音静かより
足早に人ゆき交ふもたそがれの
街に燈ともり 秋雨のふる
おく露にしとぬれつ、この頃は
鏡ふだりアの咲かすなりゆく
橋ばかり高くなりたり冬川は
寂しき水の流れなるかも
時たまゆ風立ちぬればクラベルの
ひと花毎にゆれ光り見ゆ
(ロマンテ・ローベスにて)

パレルモの池 伏舟

落日の光あびつ、パレルモの
池の汀にあそぶ 水禽

パレルモの池の水面に夕陽あちて
花散る蔭にむれ啼く水鳥
夕陽さす池の小島の花の蔭に
見えつ覆れつ漕ぎ行くボート
夕焼の空を飛ぶ行く白鳥の
姿をひたす 静かひる池
静かふる水面に映る白雲の
上に散りしく赤き花びら
音もふく花がこぼる、池の中に
水脈しひきつ、鏡をさす水禽
縁度か池をめぐりてパレルモの
花と人にと酔ふ心地すも。

想ひ 捨小舟

今宵このやがに澄める夕月を
忌も見るらむ同じ想ひに
「政卿は花咲りです」と妹が
やうしき文に香る押花
秋風に音もふく散る病葉の
一つ一つも物語るやう
捨て、来し故里の女は如何にやと
時雨る、夜は思ひ出さる

詩

故郷の物語りきくその夜は
わけても秋をわびしと思ふ
病む身政が今宵亦讀むトランクの
巻に秘めたる 君が玉章
いさ、かの風と答へて働きぬ
やとほれ人の我は身おれは
暮れやらぬこのたそがれの一時を
眼、うつろに 死を思ひたり

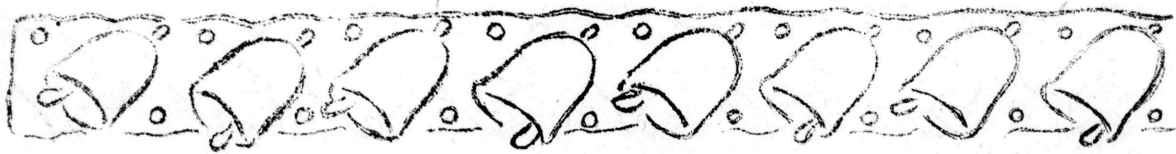
A 戦死者 比嘉廉永

サレタの古戦場で
人間の白骨をみた
美しい
ロマンチックな
首の吸殻がね。

B 電車のなかで

電車のなかで
見識らん人達がより集つて
夜をふかしてゐる





皆黙つてはゐるが
君たちがどんぶ安煙草を吸つてゐるが
ぐらゐは知つてゐるさ。

C 愛

空よ 僕づ
お前に見るのには
それは 一つの謎だ
お前のおちう側にあるのは
あれは 二つで夢見る
小さい僕だ。

— MAYO. 23 —

健康よ!

比雅洞

新鮮な
五月の花の様は健康よ!
お前は情なくも
僕がら逃けてしまつたな。
一寒煙のやうな裏長屋の
冷たい壁と壁との間に
僕とはどつちから逃けてしまつ
たか。

あ、お前に捨てられた
高むわん。

今日もまた 机の引合から
古い短銃をだして弾いたよ。

一の思

伏舟

何処より
君は来れる
なつかしく
吾れに寄りそむ
つ、まじく
笑みまほりし
あの如く
天文の如し
居所知らず
名を知らず
あ、あの如く
あ、あの如く。

何処にぞ
君は去りたる
秋の
妙なる樂と
かきつる如く
吾れを教へし
あの如く
旧百合の如し
居所知らず
名を知らず
あ、あの如く
アカシマに
秋訪れて

早や四とせ

君は今
何処にゐます
人知れず
胸に抱ける
この思
死ぬる際まで
君にも知れず
あ、この思。

— 一九三〇・五・二 —

あの木蔭

蘇南

何つちあの木の下に
じよんぼり立つて
何ぞを見つめる。
魅力のある女だ
見るともなしに
みてる甲に彼女に
ある刀を見出した
日暮れ頃のあの木の下で
何つちあの木の下で
物思ひに沈んでる
彼の姿こそ
己の戀を求めた姿だ
然し夢は破れた
己は彼の地を去つたのだ
而し彼女は何つち
あの木の下に立つてゐる

昔も今も変わらぬ
あの木の下に
彼女の姿
魅力のある女だ
己は走つてゐるのか
太陽の西へ廻る頃
彼の姿
あの木の下を思ふ

向ふの家

遷庵

パンパスに
秋風が吹き出した。
向ふの家の
コレティナを吹き開ける
チラー彼女の
微笑を見た。
窓は開けられた。
そして淋しい枯野だ。
パンパスに
木枯しが吹き初めた。
向ふの家の
コレティナを吹き開ける。
然し再び
彼女は見えぬ。
窓は閉じられた。
そして淋しい枯野はかり。



妻病む

汪見利夫

窓硝子に音響を吸ひとられた風景は乳白色にほろりと静かだ。朝の愛着を覚えて優しい接吻を唇に送った。親しんだ茶の香りと交錯して彼の鼻を打つと逆れた視線に壁のザツキの鋭い線が走った。何かしら目頭が熱かった。朝は朗らかに健康なのだ。處女の臀肉の様ふとからビチ／＼と音を立てて出る萌芽の新緑さなのだ。それに今日一日の仕事が手を延ばして来た。さし進んだ太陽の光に微笑を爆発させた。

妻はもう先刻から眠っているのだ。爆発的であつた朝の感傷の端々も知采した妻だ。彼女の唇が静かに近づいて二つの魂は接吻の中で綜合した。

「おえ、レネー、もうすぐ二人で散歩が出来よう、強くなろう……」

心配しないで……心配しないで……病床の喜ばは涙だ。熱くはく目づつた。愛着した唇が感情の春を動かした。

「泣かないで、泣かないで、そう云つて寝るの途中で笑つてやめた。余りに喉嚨的だ。床からは起き出して開放した窓から大気を充分吸ひ込んでやめた。アベニード・デ・マヨの太陽が水色の洞の中で廻轉するさまが……と都会の風景が展開された。

ソファに用意されてあつた。私寂寥して夜中に揃へてをきましたの……

妻は私を優しく凝視してゐた。駄目だが起きたりふんかして……然し心は和やかだつた。コレは……と結ぶ手も離れなかった。

仕事の中には憂鬱と苦悩が蠢いてゐてもそれは交換と償還が新しい争闘意識を蘇らせてくれた。然し資本家に対する憤懣が在つても到底アナル生活から抜け切れぬ人間だから無抵抗のチェコイズムに任んで方々安んじたい。否、むしろ休めなかつた。中産階級がどうしたもんぢやないか。

「おえ、レネーはお前幸福かい、それぞ……」

「幸福も不幸もいぢやありませんが、そんなことを考へる余裕のない私ですもの、強いて云へば幸福すぎる私……」

朝の接吻を済ませると私は勢いよくアベニードの扉を開いた。

「それでい、んだ……」

過去も肉親も終つて考へたくなけりだつた。明るく外に出てみると彼女この生活の現在に於ての幸福を抱括してゐる自分であり下り都会人の昏迷と憂鬱がふんたの様ふ甘さで襲ひか、つて妙に足が重かつた。事実、彼女この生活範囲外の活動現象に彷彿的の無関心を装ふ自分分ふんだが物質的の音息の概念がともすると、夢の様ふ幸福感に

考へたこともない幻滅と覚える現在だつた。兎に角、働かざれば二人の生活は破滅するのだ。然し画家や小説家やデザイナーの中に藝術的法悦と感得得る幸福感を得られぬもの淋しさを。雨の日の店はいつもの静けさで、テラケツサのライグーラが向ひ合つたクラックの像と交差する。支那のボリッシュが鏡裏を思ふ素に沈んで微か光明を隣りの花鏡に示すはグリだ。

「おえ、レネー、今日の賣上が、氣まぐれおせ、レネー、トラウエルが、クロイ、予想外の結果を得たわけ、安堵に似た氣軽さを感じたわね、毎日それが安物にしろ藝術品に近自品物の中に生活する自分自身に賞する意味の安慰と技術を授けて一日を送る自分だつた。

「おえ、レネー、お前の光波にエ、レネー、靴下を踏ると一日の仕事は終るわけだ。」

少し振りで妻にドスチーのメレンゲを買つて行かうと遠廻りだつた。アベニードに出るとそこには帰宅の時間を早急するノビア同志の塊の開放があつた。私の心は和がだつた。一日の仕事の疲れを忘れて彼女草の幸福を祈つてやりたい和やかさだつた。

「おえ、レネー、お前の光波にエ、レネー、靴下を踏ると一日の仕事は終るわけだ。」

少し振りで妻にドスチーのメレンゲを買つて行かうと遠廻りだつた。アベニードに出るとそこには帰宅の時間を早急するノビア同志の塊の開放があつた。私の心は和がだつた。一日の仕事の疲れを忘れて彼女草の幸福を祈つてやりたい和やかさだつた。

「おえ、レネー、お前の光波にエ、レネー、靴下を踏ると一日の仕事は終るわけだ。」

少し振りで妻にドスチーのメレンゲを買つて行かうと遠廻りだつた。アベニードに出るとそこには帰宅の時間を早急するノビア同志の塊の開放があつた。私の心は和がだつた。一日の仕事の疲れを忘れて彼女草の幸福を祈つてやりたい和やかさだつた。

「おえ、レネー、お前の光波にエ、レネー、靴下を踏ると一日の仕事は終るわけだ。」

少し振りで妻にドスチーのメレンゲを買つて行かうと遠廻りだつた。アベニードに出るとそこには帰宅の時間を早急するノビア同志の塊の開放があつた。私の心は和がだつた。一日の仕事の疲れを忘れて彼女草の幸福を祈つてやりたい和やかさだつた。

「おえ、レネー、お前の光波にエ、レネー、靴下を踏ると一日の仕事は終るわけだ。」

祝獨立祭

田川清

ウイジマ・マリア

祝獨立祭

吉川六郎

コンコルディア

祝獨立祭

村上清市

口サリ大市

御覧しようが、其れ共兄弟様... 手紙を出そうかと毎日悩んで起... きても考へてはかり居りました... 居る様でも今迄別に御話しが...

困つて居ると、物かけて聞いて居ら... れたらしい叔母さんや番茶をい... れかえて座敷へ出てこられた...

と眼を見合せた誠は淡く、而も... 純な顔で居た。此時若し自分... に理性がぶつたらぬと、本心...

は要口しては皆んが、再び... いたそうた。想ふに松さんは相愛する夫婦が... 如何程凄れ居ても夫が死の...

祝 獨立祭 在東京 兵頭 透 祝 獨立祭 在長崎 田原 豊

内外時報

欧州経済聯盟の企画

ブリアン外相欧州諸國

に對して意見を述べ

佛國外相ブリアン氏は、昨、東京に於て、東亞の諸國に對して、其の國境を越えて、自由貿易の實現を期すべし、と述べ、

草刈海軍中佐自殺

軍令部附海軍中佐草刈榮次氏は、去る十九日自殺を遂げた。自決の原因は、就中、海軍の縮減に憤慨したためである。

台湾に一大金鉱発見

倫敦のブリー・テレグラフ紙の発表によると、台湾の同島に於て、一大金鉱発見され、サツト四十億圓の富源であらうと見られてゐる。

伯國に飛来す

初めて南米飛行の途に上つたツエーリン伯は、去る十九日、獨逸を鹿島立ちし、途中、西班牙、セウイリア市に一時の宿をとり、午後八時半、同地を伯國北端、ベルナンブーコに向つたが、二昼夜の長飛行も無事、廿二日午前十時、目的地に着した。

女丈夫ナイデウ夫人

捕縛さる

ガンヂの跡を襲つて印度の民族運動の中心に當つた女丈夫ナイデウ夫人は、去る廿一日、英官憲の捕縛を受けた。夫人は、アラサラ市の食糧貯蔵庫襲撃を企てた二十人の民衆を激励し、ありし際、夫人の秘書の子息、マリイと共に逮捕されたのである。

伯國新大統領訪米

伯國の新選出大統領ジュリアス・プレステ氏は、去る廿一日、大統領の末訪米することにした。訪米は、多分、廿四日サンフランシスコに於て、伯國汽船「マリア」にて出発する見込みである。

南京軍と決勝大捷す

馮玉祥、閻錫山の両巨頭は、將介石討滅を企て、北方を策源地として、大軍を組織し、南京政府を脅威した。馮玉祥は、自ら総帥となつて、北軍征伐に向つた。馮玉祥の軍は、去る廿一日、南京に及んだ。南京軍は、廿一日、北軍の攻撃を撃退し、大捷を得た。然し、將介石は、苦戦に陥り、

不思議の療法に

世人驚く

過敏症を患せるスペイン國ウラスコング州出身のアスエロ博士は、此の世に於て、不思議の療法を考へた。此の療法は、北軍の死傷は五千、南軍は千五百と傳へられてゐる。不思議の療法に、世人驚く。

大ルケスタ稼業

最近、ワイルム・ホルン川の流行によつて、武市町の活動寫眞館内の大ルケスタ全廢を見せしに至り、一時に多数の失業者を出した。失業者は、大ルケスタを修理して、失業者の生活を救ふことに努めてゐる。

邦人理髮職人を求む

給料其他の條件は面談の上、メルケリア「東京」に接洽せよ。Call 25 of 489. Mitsuda (F. C. O.) (K. E. 取付時間)

チントレリア譲る

場所。英米人家庭多き。Call 46, Camo 2908

御禮 廣告

私儀今回ららした丸にて、帰國の際、御多忙中、難々、船迄御見送り被下、御厚情の程、難有、茲に、下巻儀、紙上御礼申進候。五月十七日 藤田友八

辱知諸賢

最近ニュース

議會最終日に

代議士の大立廻り

特別議會最終日の十三日議長室にて、政友会と憲政本党の両派、...

海軍概

佐世保一台湾間を飛ぶ

佐世保航空隊の佐世保台湾間往復飛行は十四日決行された。午前五時廿分加藤少佐内山大尉指揮の下...

陸軍概

陸軍概行を重視す

陸軍省は陸軍概行を重視す。陸軍省は陸軍概行を重視す。陸軍省は陸軍概行を重視す。

極東大会に出場の支那選手日本へ向ふ

上海十五日電、極東大会出場の支那選手百廿四名、...

強り目の政友代議士

十五日森野廣尾町政友代議士倉元一平は、...

漢口首相 東御元帥と会見

漢口首相は財政部全權が十九日朝野記者会見し、...

國民政府の

金輸出及銀塊輸入禁止

上海十六日電、本日午前十時上陸した龍の告示を掲げた。...

支那の動乱再燃す

徐州及び山東方面雲霧環繞し、各地に留民保護の対策について...

日本人に貸したし

木造家屋。三室あり。ガラヘ付き、尚コモディダあり。...

拾三エクタリアのギンタ

日本人に貸したし。場所 武州フニン市。十エクタール野帳のタンクあり。...

ティントリア譲る

洋服フランチャイザ機械付。家賃低廉。家族住に出来す。...

Raymond 1596 est. Boston

雜報

第一回日会役員会

新役員 役割互選決定

既報の如く第一回日会役員会は去る十七日、午後九時半より全會館に於て開催。出席者は鈴木、谷口、本田、宮本、山形、高橋、及川、中川、稲石、田中、本間、緒方、有木、山口、岡部、右田、大河の十七氏であつた。本会役員長先づ役員成立に至る迄の経過を報告し、議事に入る。最初會長以下の役割の互選を行つた。一人の辞退者もなく、順調に成立を見て左の如く決定。

會長 鈴木 賢一
副會長 緒方 美雄
幹事 岡部 好一
副幹事 宮本 好一
會計 谷口 萬年
副會計 石丸 弥三
會計監査 齊藤 茂次
理事 及川 晉次
田中 乙吉
本間 伊吉
山形 元吉
大塚 喜義
中川 長作
本田 銀雄
有木 藤太郎
山口 吉三郎

各部委員は、會長の指名により左の如く決定。購買部 石丸、勝山、中川、星田、齊藤、救済部 本田、有木、岡部、学務部 本田、有木、岡部、會館管理部 大塚、田中、緒方、右田、大河、塩沢。補缺は次点者に通告する事に決定。其他種々希望、意見交換ありて十一時散會。尚活動方針を決定するため、近日中に第二回役員会開催せらる由。

商船ラブラタ丸出帆

商船ラブラタ丸は去る十七日午後四時フエルト、ヌエボ、ダラセ、セバ、リ日本へ向け出帆した。全船に帰國の人々は左の如し。スルイス夫人及令息、令嬢、藤田友八、松本信太郎夫妻及子息、竹崎義嘉、福島ミチ子、千葉三郎夫妻(サントス迄)、外間太郎(サントス迄)。

横道金一郎氏 日亜拓植を辞任

日亜拓植の支那人として、チマコに於て活動しつゝ、ありし横道金一郎氏は、今般同社を辭し、同下武市滞在中。

世界徒歩旅行家

岡田芳太郎氏

亞國領に入る

一九〇一年より歐洲、布達、北米、加奈、墨國を経て中南米諸國を跋涉し、去る三月上旬智利國をエラ、デ、フエゴ島に達した。世界徒歩旅行家岡田芳太郎氏は三月中旬亞國領フエゴ島に到着し、直ちにマガジヤ、ネスを登り北上して、六七月頃武市に到着の由。

山本栄治郎氏の結婚披露の宴

先般華度華燭の典を挙げられた山本栄治郎氏は、今五月廿五日午後六時より、だるま亭に於て、知友を招き披露の宴を張ると。

出生

△葛西俊樹氏定に於ては去る五日午前八時十五分男出生。泰範と命名。母子共に健在。

人事

△吉峰伍之助氏(チビルコ)十七日廿八日退任。
△安岡達三氏、廿一日メントサ州へ向ふ。
△有田龍雄氏、先團ロサリ市へ向け旅行。

△換算百円付百廿二票也

帝室博物館復興 寄附金額収表(三)

金百二十円也	伊藤清藏殿
五円也	菅原長吉
五円也	西坂實木
一円也	諸村恒次郎
一円也	諸村清
五円也	北川 稔
五円也	T. N
果計四百参拾六円也	
(五月廿一日マデ)	

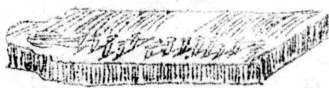
商船着発日取

フエンス・アイレス丸	六月十日入港 全廿一日出帆
さんとす丸	七月五日入港 全十六日出帆
大阪商船	株式会社

郵船着発日取

神奈川丸	六月三日入港 六月十三日出帆
博多丸	七月三日入港 七月十三日出帆
日本郵船	株式会社

大正琴



稲尾出口商店

市内ウエネスエラ街 電話(リバダビア)一三六二
一六七八

◎好評噴々▽
村岡玄先生著 拾一円
◎西和辞典 拾一円
◎スペイン語全解 四半
◎スペイン語會話文典 三半

そろばん 賣價

原商店

市内ベルグラノ街 一四七〇
電話(リバダビア)六六四一
市内ハルトロミットレ街 一〇三〇
電話(マニ) 七〇七二

TINTORERIA

"IRIS"

祝 立 独 祭

坂本 榮次郎

染色店「イリス」

市内サンタ・テレーサ街一六三
電話 マーヨ 二六六

STGO. DEL ESTERO 163 U.T. MAYO 1166

EL YAMATO

TINTORERIA LAVADO Y PLANCHADO
DE

M.W. JENO

祝 亞 國 獨 立 祭

「やまと」染物洗濯店

瀬尾 和太郎

LAS HERAS 1987 U.T. 44 JUNCAI 509

ALMACEN
"NISHIJAKA"

祝 亞 國 獨 立 祭

日用食糧品

味噌・醬油・漬物製造販賣

西坂 商店

市内アウストリア街一〇五
電話 バラカス 二九一五

ALMACEN Y BAZAR
DE

T. NAKAGAWA

SUAREZ 1300
U.T. BARRACAS 0269

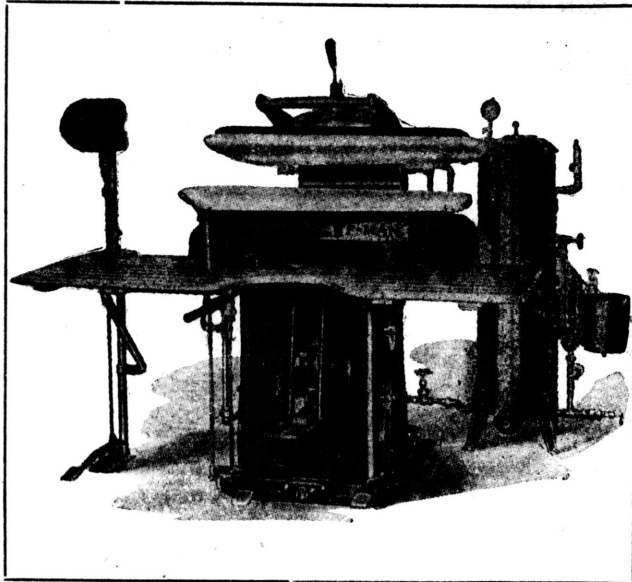
祝 獨 立 祭

アルマセン兼バザール

中川 商店

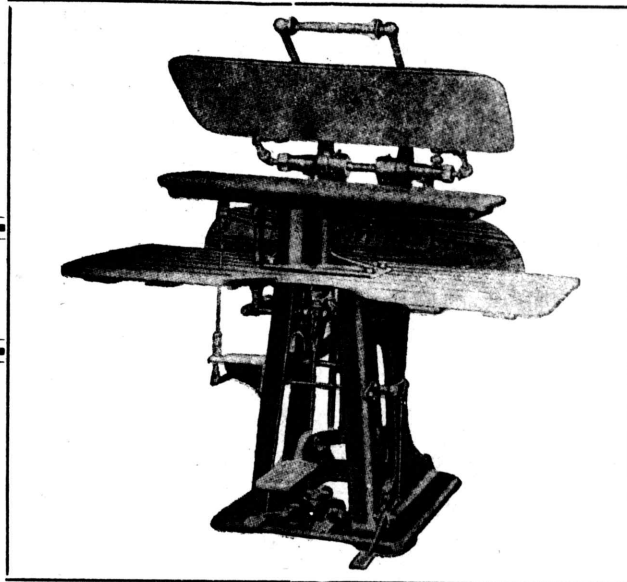
市内スワレス街一三〇〇
電話 〇八六九(バラカス)

Modelo "KLEAR BUK"
Para Tintorerías



CAPACIDAD PARA PLANCHAR 40 TRAJES POR DIA

Modelo "BTF-I"
Para Lavaderos



MODELO ESPECIAL PARA PLANCHAR:

Ropa interior de seda, Pyjamas, Guardapolvos, Camisas, Cuellos, Cortinas, Ropa de brin, Sábanas, Mantelería, etc.

Nuevo Modelo "HR-8"
Para Planchar Sombreros

ALGO ESPECIAL Y AL ALCANCE DE TODO BOLSILLO

LAS VENDEMOS

CON O SIN HORMAS

• •

PRÁCTICA

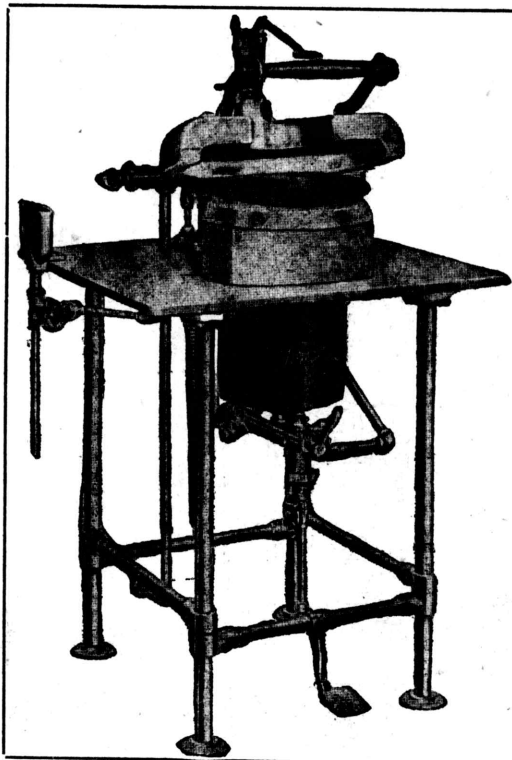
ECONÓMICA

SENCILLA

• •

A igual que todas nuestras máquinas viene equipada con el famoso aspirador.

The Hoff-Man



ESTA MAQUINA SOLUCIONA EL PROBLEMA DE MUCHAS TINTORERIAS, LAS QUE YA NO TENDRAN NECESIDAD DE MANDAR A OTRO TALLER PARA PLANCHAR O CONFORMAR LOS SOMBREROS.

• •

Pase por nuestra oficina en donde tendremos el mayor gusto en darle mayores datos y precios de esta máquina.

• •

Puede ser acoplada a su máquina de planchar trajes, o sea trabajar con la misma caldera.

COMPañIA *Hoff-Man* MAQUINAS DE PLANCHAR

(UNITED STATES HOFFMAN MACHINERY CORP.)

U. T. Libertad, 1425

ROBERTO H. KILSBY
REPRESENTANTE

LIBERTAD, 182

祝亞國 獨之榮



FOTOGRAFIA KASAYHI

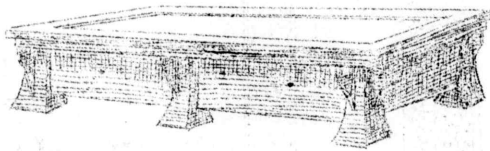
高真館

高西谷

CALLAO 1451 - Bº Aº - U.T. 4563 JUNCAL

1810 - 25 de Mayo - 1930

BILLARES "BRUNSWICK"



BARANDAS "MONARCH"

Material preferido en las casas de primera categoria

VENTA A PLAZOS

SIN RECARGO DE PRECIOS

CANGALLO 1818 - Bº AIRES - U.T. 74 Cuyo 3018 - 9

KIOTO
 CAFE Y BILLAR
 CORRIENTES 2702 - U.T. 4012 CUYO

祝亞國獨立祭
 カフェ「京都」
 窪 窪
 禎 藏
 秀
 コリエンテス街三三〇ニ
 電話クローヨ 四〇一二

CAFE "THE JAPAN"
 GENERAL HORNOS 16
 U.T. 23 B. Orden 4540

祝獨立紀念祭
 五月廿五日
 カフェ「ザ・ジャパン」
 及川 晋次
 (ネラレオリス街一六八)
 電話ハエメルテン 四五四〇

TINTORERIA
"LA MODERNA"
 RIVADAVIA 2670
 U.T. 47 CUYO 6044

祝亞國獨立祭
 プ・モダerna「染物店」
 宮本 好

TINTORERIA
TOKIO
 EN BELGRANO
 MENDOZA 2450
 Q. B. 2819 Belgrano.

祝獨立祭
 五月廿五日
 岩尾 朝平
 平田 細吉

25 DE MAYO
1810 * * 1930

THE JAPAN BAR

祝
独
立
祭

カフエ「サツマ」

新垣 徳衛
大城 永蒲

市内ベンケイシンコテ
マヨウ街
四ニセ

25 DE MAYO 427-37 U.T. RETIRO 0675

CAFE SATUMA

DE KUROKAWA H^{nos}

SERVICIO ESMERADO

CASA PRINCIPAL: } SUCURSAL:
RECONQUISTA 424 } AV. L.N. ALEM 316-22
U.T. 31 RETIRO 2896 } U.T. 31 RETIRO 1571

祝
独
立
紀
念
祭

カフエ「サツマ」

黒川 禎助
全 義盛

TINTORERIA
LA JAPONESA

DE

JULIO H. SAITO

祝
独
立
紀
念
祭

染物店

「ラハホネサ」

齊藤 茂次

BAR Y BILLARES

“TOKIO”

CALLE BELGRANO 502
Esp. BOLIVAR
U.T. 33 AVENIDA 4614

祝
独
立
紀
念
祭

バル「東京」

宮園 新之助
梶山 島因
内田 貴像

祝 独 立 祭

街料理
街旅館
昭和館

杉本春松

市内コリエンテス街 二五二九
電話 クローヨ 八七六三

祝 独 立 祭

日本街料理仕出し會席
末廣亭

かまぼこ調製配達致します

松尾好一

市内ハトリシオス街一九
電話 エルデン 五七三五

祝 独 立 祭

たるま亭



松田清市

市内ナカガブコ街 七五〇
電話 アベニータ 〇三四三

TINTORERIA JAPONESA

"LA YOKOHAMA"

TALLER DE SOMBREROS Y COMPOSTURAS

MAIPU - 685
U.T. RETIRO 2168

菅原長吉

祝 亞 國 獨 立 祭

GRAN TINTORERIA
Y TALLER DE
LAVADO Y PLANCHADO

"EL YOKOHAMA"

洗濯店
上久保文吉

B. MITRE
2511

U.T.
47 Calle
7159

TALLER

"HINOMOTO"

DE LAVADO Y
PLANCHADO A
GAS Y
ELECTRICIDAD
DE

ONAHU HROS

LIMA 489

小那覇兄弟

ひのもと洗濯店

FABRICANTE DE TAFILETE Y FORROS
para sombreros de paja, fieltro
y pañomá

A. Fernandez Vega

BELGRANO
3201 - 5
24 de NOVIEMBRE

各種帽子の裏地
羊毛・タフワイレット
製衣作販賣元
市内ベルグラー街三〇

U.T.
62 - MITRE
8555

TINTORERIA

"LA JAPONESITA"
DE HE SHIKI YUENARA

平識善善
上原松太郎
全善善
助蒲

J.E. URIBURU
350

U.T.
47 Calle
5212

"EL TOKIO"

TINTORERIA Y TALLER DE SOMBREROS

DE J. KAMIOKE

INDEPENDENCIA 3693
U.T. 62 MITRE 8365

東京染物店
上桶甚太郎

祝 獨 立 紀 念 祭

TINTORERIA
"NEW JAPAN"
DE TAAGO HERMANOS

他
全 阿 吳
牛 清 松

ASAMBLEA
827
(al lado del
Cine Asamblea)

U.T. (60)
CABALLITO
1220

TINTORERIA
"YOKI"
DE
Y. OKAWA

大 河 榮 一

ARENALES
2301

U.T.
Juncal
4675

C. Yamada

MASAJISTA JAPONES
CONCORDIA 4778
U.T. (50) Villa Devoto 0410

山 田 忠 重
コンコルディア街四七七八
電話キネボト〇四一〇

日本式按摩
鍼灸治療致します。

TINTORERIA
"EL TOKIO"
SISTEMA ULTRA MODERNA
DE HIGA Y CIA

比 嘉 源 助
全 彌 吉

R.L. FALCON
2392

SUCRUSAL
VARELA
1142

TINTORERIA "GRAN JUD"

Bdo. DE IRIGOYEN
1588

CASI Esq. BRAZIL
U.T. 23 B. Orden 3235
B! A!

吉田仁吉

祝 亞 國 獨 立 紀 念 祭

"EL NORTE"

LAVADO Y PLANCHADO

谷本兼吉

洗濯店
エルノルテ

PARAGUAY 1317 - U.T. Juncal 5064

GRAN TALLER
JAPONES DE LAVADO

"EL ASAHI"

宮園新之助

洗濯店朝日

CHARCAS 1873 - U.T. Juncal 4366

"NEW YORK"

帽子。アイロン機

拾ヶ月拂ひて販賣致します

◎發賣所

市内アベニダ・デ・マヨ街一四七三
電話 マーヨ 三三九五

新屋敷商店

市内カリフォルニア街二八四番

とうふ・こんにやく
製造販賣

FABRICA DE MUEBLES DE BAMBU
DE IKUJI SAEKI

COCHABAMBA

1300

佐伯亥九二

竹細工
製造販賣

祝 独 之 紀 念 祭

TINTORERIA
"EDO"

RIVADAVIA
6114
U.T. FLORES 6863

真玉橋朝長
我如古威宗

染色店「江戸」

SUCURSAL
CANNING
1074

TINTORERIA

"SATSUMA"

JUNCAL
1841

水流兄弟

U.T.
41 Plaza
2097

ENRIQUE MOREIRA

DESPACHANTE DE ADUANA
IMPORTACION Y EXPORTACION

RECONQUISTA
144
Esc. 21 y 22

通関手続人
エンリケ・モレイラ

U.T.
AVENIDA
3883

DR. J.P. MUNZINGER

MEDICO CIRUJANO

178-LIMA-188
B: AURES

獨逸病院
之日會顧問
醫師ムンジンガー

U.T.
RIVADAVIA
1154

LA HIGIENICA
DE JONDE Y UCIUDA

GRAN TALLER JAPONES
DELAVADO Y PLANCHADO

856-MAIPU-860
U.T. (61) Retiro 0544
B & A

マイプー街 八五六
電話レライロロ三四田

本出嘉太郎
内田貴像

祝 亞 國 獨 立 紀 念 祭

HOTEL Y PENSIÓN
JAPONES
DE HIGA HIROS

比嘉榮二兄弟

CALLE
BOLIVAR
440

POSADAS
MISIONES

TINTORERIA
BELGRANO

花本保

MONROE 2957 - U.T. Belg. 3981

SAN JUAN

GRANDES ALMACENES

サンファン

呉服店

PIEDRAS-VICTORIA-ALSINA

DR. GALANTE

痲病 毒尿道

皮膚生殖器障害専門

◎ 診察時間

午後五時より
全十時まで
◎ 日曜日
午後十時より
全十二時まで

RIVADAVIA 1569

2º Piso
U.T. Mayo 3511

ALMIRANTE
BROWN
1347
(Boca)

ALMACEN
CASA TORU
 CORRIENTES

祝
 亞
 國
 獨
 立
 祭

コリエンテス市
 アルマセン「カサトリー」

津
 全 曲 恒 太 郎
 諦 二

CAFE JAPON
 DE J. TAKEUCHI
 CASA MATRIZ
 CILE SAN MARTIN 658
 SUCURSAL
 " SAN MARTIN 935
 ROSARIO

祝
 獨
 立
 祭

ロサリオ市
 カフェ「ハボン」

竹
 内 重 吉

CAFE
 "SAN MARTIN"
 JUNIN Y CORDOBA, CORRIENTES

祝
 獨
 立
 紀
 念
 祭

コリエンテス市「カフェサンマルティン」

寺 田 秀 吉
 筒 井 久 太郎
 坂 本 俊 一

CAFE NIPONES
 DE
 T. TSURU

祝
 獨
 立
 紀
 念
 祭

アスール市
 カフェ「ニッポネス」

全 鶴 辰 辰 馬 次

CAFE TOKIO

25 DE MAYO 14-22
TUCUMAN F.C.C.A.

トクマン市
カフェ

祝独立記念祭

宮小吉
本國崎
嶺興
肇雄吉

CAFE JAPONES

CASA MATRIZ
CHACABUCO, F.C.P.
SUCURSAL
CHIVILCOY F.C.O.

カフェ・ハポネス
本店
支店
チヤカブコ市
チビルコイ市

祝独立記念祭

藤遊吉
田佐峰
友佐之
八壽助

祝独立記念祭

コルドバ州
コスキン市

前山青
川崎木
雪忠小
江直一郎

祝亞國独立祭

コルドバ市

大西佐一郎

CAFE "TOKIO"
DE
TOGO TSURUSAKI
BAHIA BLANCA, F.C.P.

祝独立記念祭

バイアブランカ市
カフェ「東京」

鶴崎藤吾

CAFE TOKIO
DE HIRAY HNOS
SANTA FE

祝独立記念祭

サンタフェ市「東京」(創立一九一四年)

本店
第一支店
第二支店

サンマルティン街
リバカビア街
サンマルティン街

三三三
三〇〇
二四四〇

平井庄
全全
治勝庄
七次八

CAFE TOKIO
CONCORDIA, E. RIOS

祝亞國独立祭

コンコルディア市
カフェ「東京」

井堀具原儀
上田原儀
啓儀
行勝八

CAFE TOKIO

BELL VILLE, Prov. DE CORDOBA

祝独立記念祭

ベルヴィーユ市
カフェ「東京」

山中米吉助
村末米吉助

25 DE MAYO

1810 ~~~~~ 1930

SIERRA DE CORDOBA

HOTEL "PLAZA"

DE

JUAN KAWABATA

(QUINTA JAPONESA)

UNQUILLO

F.C.C.C.

コルドバ州
ウニキエリヨ

川端嵩

CAFE TOKIO

POSADAS

(MISIONES)

祝独立記念祭

ホサータ市
カフェ「東京」

山口喜代

全全全
實之

郎助一志

CAFE TOKIO

DE

EIJI NAKAMA

TANDIL

F.C.S.

祝独立記念祭

タンデイル市
カフェ「東京」

中間栄二

CAFE NIPONES

HOTEL, BAR Y BILLARES

DE MINWA HIGA

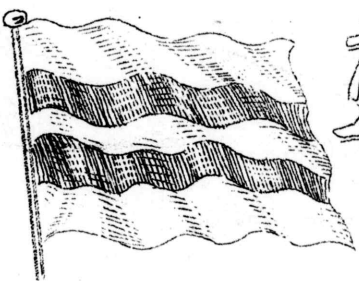
CORRIENTES E MUZANGO, SALTA
F. C. C. N. A.

祝独立記念祭

サルタ市
カフェ「ニッポネス」

比嘉民和

祝 独 立 紀 念 祭



NIPPON YUSEN KAISHA

日 本 郵 船 株 式 會 社

エヌアイレス代理店

ラムポート・イ・ホルト汽船會社

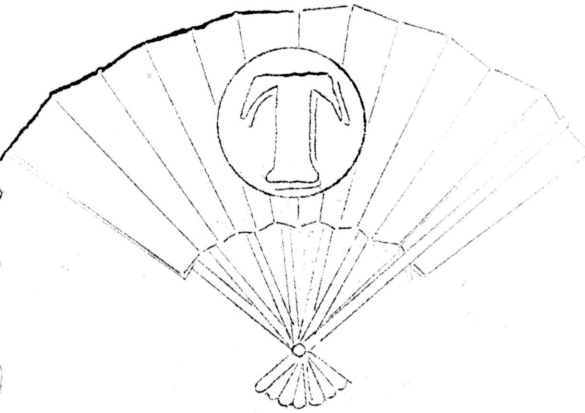
サルミエント街四四三
電話レテイロ四九七一七

出帆日取其他詳細は上記代理
店又は富崎商店(電話ハラスカス一七三六
番)へ御照會願ひます

LAMPOR & HOLT LTD

SARMIENTO 440 U.T. 4971 AL 74 RETIRO B.A.S

富岡商店



祝
獨
之
祭

25 DE MAYO

1810

1930

JOSE TOMISAKI & Hnos.

ESCRITORIO: MAGALLANES U.T.(21) BARR. 2628
CABLE ADDRESS TOMISAKI

SUB AGENCIA NIPPON YUSEN KABUSHIKI KAISHA

PROVEEDORES MARITIMOS

VENTA POR MAYOR ESTAMPILLA MARCA ABANICO

ALMACEN DE COMESTIBLES Y BEBIDAS

U.T. 21 BARR. 1736 HERNANDARIAS 1544

BAZAR & JUGUETERIA: ALVARADO 1175

CARNICERIA N.º 1. ALVARADO 1177

CARNICERIA N.º 2. HERNANDARIAS 1533



亞爾然丁時報社
同人

亞爾然丁時報
USPATA 981, B5 AIRES
UT (25) B. Orden 7051
發行人 水野 勉